

かねざわ

第69号

2019年（令和元年）5月

- (P—2) 新年度を迎えるにあたって
(P—16) 公開歴史講座「金沢地先の埋立と旧長浜検疫所・横浜港」
(P—25) 会員の寄稿「わっ！おもしろい金沢：金沢猫には尻尾がない」
(P—31) // 「シルクロード旅の思い出 他」



次

“わ”の会 今年度方針

2 新年度を迎えるにあたって

“わ”の会 代表 内田 孝知

運営委員会からの便り

4 新元号「令和」を寿ぐ

“わ”の会 運営委員 工藤 君明

分科会 今年度の方針

6 「寺社を巡る会」 代表 吉田 寿紀

7 「古文書を読む会」 代表 真田 雅行

8 「ふれあいの道歩こう会」 代表 江口 正彦

9 「懐かしの映画を観る会」 代表 佐藤 晃

12 「浮雲俳句会」 代表 北野 清市

13 「パソコンを使いこなす会」 代表 林 洋

14 運営委員 新任・退任挨拶

公開 歴史講座

16 第14回公開歴史講座「金沢地先の埋立と旧長浜検疫所・横浜港」

会員の寄稿

25 「わっ！おもしろい金沢 金沢猫には尻尾がない」

工藤 君明

31 「シルクロード旅の思い出 他」

真田 雅行

分科会からの便り

36 「寺社を巡る会」活動記録（2月～4月）

39 「ふれあいの道歩こう会」実施概要No.25

代表 江口 正彦

42 「懐かしの映画を観る会」No.30

代表 佐藤 晃

49 「浮雲俳句会」抄録No.45

代表 北野 清市

54 「パソコンを使いこなす会」

10周年記念行事 代表 林 洋

歴史研究

57 「江戸時代の五街道を歩く」（6）

「古文書を読む会」 代表 真田 雅行

64 行事予定（6月～8月）



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ：<http://kanazawa-wanokai.in.cocacn.jp/>

✉ il:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

「新年度を迎えるにあたって」

“わ”の会 代表 内田 孝知

1. ご挨拶

爽やかな風がそよめき、青葉が繁る5月となり、会員の皆様には、心地良い季節を迎えられた事と思います。今年の冬は、例年になく寒暖差が大きく厳しかったこともあり、より一層春が待ちどろしいのではないでしょうか。

私は代表に就任して4年目、代表として集大成の年として気合を込めて、これからの1年間を頑張っていきたいと考えていますので、ご協力宜しくお願いします。

昨年度は設立20周年の記念事業を計画し、「か

ねざわの歴史事典」第3版を刊行する事が出来ました。6月には横浜市大カメリアホールにて記念講演会を開催、約150名の方の参加を頂きました。そのあとの記念祝賀会もシーガルセンターにて盛大に執り行う事が出来ました。ご協力有難う御座いました。

10年ひと昔と言いますが、今年からまた新たな次の10年に歩みを進めてまいります。

これからも今まで同様、会員の皆様のご支援とご協力をお願い致します。

2. 平成30年度（2018年度）概要

当会の最も重要な行事である学習会ですが、5月の総会後の第1回目は、今年も“わ”の会会員であり、古文書を読む会代表の真田雅行氏に「朝比(夷)奈切通しと峠村と六浦道周辺」のテーマで講演をお願いしました。この10年、会員の方々に講師をお願い出来る事は、会員の皆様の日頃の研鑽の賜物であり、当会の面目躍如たるところで、大変有難い事です。今後も是非良き伝統として継続をお願いしたいと考えています。

6月は、20周年記念講演会を2部構成で行いました。前半は、県立金沢文庫学芸課長の向坂氏に「金沢今昔～金沢地域の歴史と地域の変遷～」を、後半は、開港資料館副館長の斉藤氏に「近世金沢の地域性」を、金沢に関するテーマでの講演をお願いしました。この記念講演会では、区役所より助成金や後援事業としての扱いを受け、かつ区政70周年のロゴマークの使用を特に強く要請されました。

7月は、2回目の登場となった高橋悠介氏による「中世神道」、8月は、訪問講座として県立金沢文庫で新進気鋭の貫井学芸員が「安達一族～鎌倉幕府と真言密教～」を講演しました。

9月は、初登場の谷口雄太氏による「結城合戦から享徳の乱」、それこそ新進気鋭の歴史学者で切口の

違う講演の進め方で楽しめたのではと感じました。10月の探訪は、5月の学習会のテーマとリンクした「六浦地区を訪ねて」で、会員の方にガイドをお願いしました。ガイドの方々の頑張りで非常に好評な探訪となりました。

11月は、ベストセラーとなった「応仁の乱」の著者である呉座勇一氏に自ら講演して頂きました。

2月の公開歴史講座は、横浜六大事業に携った田中常義氏による「金沢地先の埋立と旧長浜検疫所・横浜港」を講演しました。実務に裏付けされた経験談、含蓄を含んだ内容は、身につまされる部分もあつたのではと感じました。

皆様のご協力と講師の方々の頑張りで、この1年間を無事に終了することができました。運営委員一同、充実感に浸るとともにホッとするひと時でもありました。

《10周年分科会》

今年度は「パソコンを使いこなす会」の10周年記念行事が行われました。

10周年おめでとう御座います。貴会の益々のご発展と末永い継続を祈念しております。

3. 20周年記念事業報告

1)「かねざわの歴史事典」第3版は800部作成、会員の皆様にお配りすると共に、宮脇書店、区役所売店、かなぶんカフェの3ヶ所で委託販売されています。

宮脇書店が約200部、区役所売店が約130部、かなぶんカフェが約40部と、販売は順調に推移しています。ほぼ製作費はカバー出来る見込みです。現在、在庫数が約200部となり、増刷も視野に、その費用を予算に組み入れました。

ただ学校関係、寺社関係への寄贈作業が滞っており、早急に対処したいと考えています。

2) 記念講演会は2部構成で行い、150名の参加者がありました。ピジター参加者が約60名と会員以外の方々にも“わ”の会をアピール出来たのではと考えています。続いて記念祝賀会を横浜市大シーガルセンターゲストルームで行いました。

3) 小冊子「20年の歩み」は、代表としての推進不足もあり編集作業が遅れています。今年度中には完成・配布したいと考えています。

4. 2019年度方針

年7回の学習会と公開歴史講座及び6つの分科会活動は、会の両輪として従来通り進めます。

1) 学習会

学習会の基本は金沢の歴史に軸足を置いた内容にする事です。

草色の別紙「2019年度)学習会予定」をご覧ください。

5月総会後の第1回目は、地元をキーに「葛飾北斎の波の絵から長浜千軒伝説を解く」、講師は“わ”の会会員でNPO法人野口英世よこはま顕彰会副理事長の平山次清氏です。

歴史を辿るテーマでは、6月は谷口雄太氏による「長尾景春の乱から長享の乱」、7月は木下聡氏による「永正の乱」を学習します。

8月は訪問講座として県立金沢文庫を訪れ、当館の企画展に合わせた講演を予定しています。

9月は真鍋淳哉氏による「三浦道寸」、10月の探訪は9月の学習会とリンクした「三浦道寸ゆかりの地巡り」を予定しています。

11月は新登場の平藤^{さち}幸氏の「軍記物語と鎌倉」、2月の公開歴史講座は、太田道灌18代子孫の太田資暁氏による「江戸の成立ちと太田道灌」を学習します。

以上 ご期待下さい。

2) 分科会

会の両輪のもう一方である分科会については、“わ”の会の活性化を図る上でも、新たな分科会の登場が待たれています。分科会に元気がないと、会全体の勢いも無くなるからです。今7つ目の分科会を目指し「万葉集に親しむ会」が昨年4月より月1回例会を開催しています。新元号が万葉集から引用された良い機会でもあり、できるだけ早い時期に分科会として立ち上げられるよう、現在準備を進めているところです。

既存の六つの分科会の頑張りや、新しい分科会(候補)からの刺激と相まって、会全体を活性化して行ければと考えています。

3) 会員状況

継続会員は男性92名、女性19名 計111名(←126名) 継続率88%

新入会員は男性3名、女性1名 計4名 2019年度は総数115名(男性:95名 女性:20名)で運営して行きます。

4) 運営委員会

退任1名、新任4名で2019年度は11名で運営して行きます。今年は4名の新しい運営委員を迎える事が出来たので、新風を吹き込んで貰えるのではと期待しています。

また 新たな1年、会員皆様全員のご協力で“わ”の会を盛り上げて行きたいと考えています。
共に頑張りましょう!!

新元号「令和」を寿ぐ

“わ”の会 運営委員 工藤 君明

この5月1日に、「平成」から「令和」へ改元されました。“わ”の会にとって新元号「令和」は二つの意味でとりわけ喜ばしいことです。当会が創設されて、昨年20周年を迎えることができましたが、それでもまだ「平成」の一代にすぎませんでした。創立21年目にして、改元は当会が新しい時代に向かって飛躍していくようにと激励しているのではないのでしょうか。そしてもう一つは、新元号の一字に、当会の目的の一つである「和」が採用されたことです。もちろん当会が参考にされたことはありえませんが、日本人（倭）が大事にしている「和」の心が共通しているところは嬉しいことです。

新元号の「令和」には、beautiful harmony（美しい調和）という意味がこめられているらしいのですが、現在の世界の調和や平和ということばかりでなく、過去の歴史を大事にする意味あいもあり、歴史を学ぶ当会にとっては重要です。諸外国の歴史とくらべて、わが国のきわめて特徴的なことは、まさに古いものを大事にして活かして使い発展させていく、ということにあります。西暦とは別に、元号を保持しているのは日本だけです。ガラパゴスだと指摘する声もありますけれども、一方では、古いものを失う愚を犯してもいけません。

ヨーロッパを旅行すると、石の古い建物が温かく迎えてくれるのはとても嬉しく思います。日本では古い街並みがどんどん失われていき、寂しく思うことがあります。しかしわが国では、古い時代の首都がそのままの形で残されています。たとえば中国では征服者が交代すると、古いものは徹底的に破壊され、その廃墟の上に新しい都が建設されてきました。ですから中国には資料がたいしてなく、歴史学者にとってはとても楽だといわれますし、そもそも「歴史」という概念がなくて、講

談話みたいな切った張ったの「春秋」が幅を利かせております。ところが日本では遷都によって古いものが保存されてきました。先の戦争で、東京は空襲によって焼け野原となってしまいましたが、京都などの古都は手付かずのままに残されました。米軍が古いものを破壊しないように配慮したとされています。

わが国にしかないものは他にもいっぱいあります。「地震カミナリ火事オヤジ」と怖いものもいっぱいありますけれど、水と空気と安全はただ同然ですし、世界で料理といえば、完成された一品を出された順に食べるのが標準ですが、日本には、食べる者が好みに応じて口のなかで完成させる「和食」という独特の料理がありますし、また意外に思われるかもしれませんが、納豆をはじめとして糸を引く食べ物は日本にしかありません。箸とか茶碗とか、自分用のマイ食器があるのも日本だけでしょう。精神文化でも、嘘についてはいけないという習慣を日本人ほど大事にしている国は英米のほかにはほとんどありません（英語で嘘つきを「라이어（横たわっている人）」ではなく、「라이어」と強く発音します）。座禅は西方から伝わってきましたが、「禅」という独自の文化が発達してきました。多様な宗教も混在しており、神式で産湯を使い、キリスト教で結婚し、仏教で死んでいくなど、ほかの国では到底考えられない習慣でしょう。そしてなによりも和の心が大切です。個人主義は社会が健全に発展していくためになにより重要なものですが、いつしか利己主義と区別がつかなくなると、社会が分断されていくこととなります。それを抑えるものが「協力」という和の心なのです。違いを探すのではなく、同じところを見つけ出す心が和の基本です。

「住所」というのも日本にしかないものです。世界標準は「アドレス」であり、これは通りにつ

けられた番号です。つまり郵便をとどける宛先ということ。ところがわが国だけは、「住所」に名前や番号をつけているのです。かつて世界にある日本大使館の住所を調べたことがありますけれども、すべて「アドレス」でした。江戸時代の古地図などを見ても、屋敷や長屋や町の名前が記されています。かつては台湾にも朝鮮にも満州にも「住所」がありました。戦後になって、すべて日本帝国の残滓として精算されてしまいました。ただ、北朝鮮だけは国交がなく、めぼしい建物をグーグルで検索しましたが、緯度経度の座標表示なので、アドレスなのか住所なのか確認できませんでした。

古いものが残されていることは、歴史を研究するときにとっても大事です。また歴史好きには嬉しいものです。当会の定期講座でたびたび講演をされてこられた呉座勇一さんが朝日新聞に「歴史雑話」というコラムを連載しておりました。そこで「歴史にロマンはいらない」と主張しております。たとえば話として、妻が殺害されている部屋に夫が血の付いたナイフを持って立っておれば、小説家なら他に犯人がいるという小説を書くことでしょう。しかし警察は、夫を犯人として逮捕するでしょう。歴史学は凡庸で退屈であっても、もっとも確からしいものを選び、「歴史ロマン」を求める気持ちは真実を探求するうえで邪魔になるとしております。歴史小説はエンターテインメントであり、想像力に欠ければ小説がつまらなくなってしまう。しかし読者は小説の内容を歴史的事実と誤解してしまう危険性がある、と呉座さんは指摘しております。

とはいえ歴史小説に危険性があるとしても、読者にとって、歴史小説家に騙されてはいけないけれども、歴史学よりは楽しいことも事実です。読者が小説家に騙されないように、学者が浮世離れしないように見張るのが歴史好きの役割です。ちょうど文学において、文学者は専門分野を深く追求し、小説家は既知の事実とうまく合わせて、夢を大きく高くと膨らませ、評論家は小説家があまりに嘘をつかないように、また学者があまりに大局を忘れて専門に陥らないように評価して読者の理解を助け、三者が対等の立場で刺激し合って、

文学は発展し、読者を楽しませてきたのです。同じように歴史の研究では、歴史学があり、歴史小説があり、それを評論する歴史好きがおります。この三者の力が拮抗してこそ、歴史を学ぶことは楽しいものになります。

私が「グー・チョキ・パー」と名づけているジャンケン理論です。グーとチョキだけでは、ジャンケンにはなりません。パーもあってこそ、なのです。ところで、ジャンケンで物事を決定することをするのも、日本人だけらしいのです。徹底的に論争してから決めるべきである、というのが世界標準です。

一方、歴史大好きが嵩じて、史実を無視して歴史を神話化してもいけません。歴史好きに求められることは、学者のように史実を追求したり、歴史小説家のようにロマンを求めたりするばかりでなく、両者を評価して読者（国民）に伝え、歴史の研究が活発に発展させていくようにする役目もあります。そのためには、歴史学者、歴史小説家、歴史愛好家の三者がそれぞれ力を発揮し、大きな「輪」とならなければなりません。そして当会は、歴史愛好家の代表として、歴史を楽しみ、社会に貢献しなければなりません。

当会会員のより一層のご研鑽を期待し、また当会がますます盛会となることを祈念いたします。



文学における三者の「輪」
学者は「深く狭く」、小説家は「大きく高く」、
そして評論家は「広く浅く」
三者の力量が対等であってこそ発展がある

今年度の方針 「寺社を巡る会」

代表 吉田 寿紀

「寺社を巡る会」は“わ”の会の最初に出来た分科会で平成14年に発足しました。当初は金沢区を中心に金沢札所三十三か所霊場巡りに始まりましたが、翌年からは鎌倉・藤沢、三浦半島など探訪範囲が広がってゆきました。また東海道宿場巡り、横浜北部地区や東京の寺社巡りあるいは大山詣などにも行っています。

昨年度は会員の希望が多かった鎌倉地区の寺社を巡る3ヶ年計画の最終年でした。「玉縄北条氏夢の跡」のテーマで大船・玉縄地区を、「東国花の寺巡り」で山之内・扇ヶ谷地区を、「梅と密教四ヶ寺」で二階堂・浄明寺地区の鎌倉の真言・天台の寺などテーマを設け巡りました。

秋には恒例の特別バス探訪を行い、「秩父地区の社巡り」として紅葉真っ盛りの宝登山神社、聖神社、秩父神社を参拝しました。

聖神社は日本で最初に鑄造されたといわれる『和同開珎』が当地で産出した和銅が使用され、この自然銅を神体として祀られています。こうしたことから「銭神様」とも呼ばれ、金運隆昌の利益にあやかろうという参拝者も多いそうで珍しい神社でした。

8月、2月は暑さ寒さを避けるために座学とし五木寛之の「百寺巡礼」のDVDを地区センターで鑑賞しました。現在までに百寺の内、約8割のお寺を五木寛之氏の案内で参拝しました。この座学後に

はそれぞれ暑気払い、新年会を行い会員同士の親睦を深めています。

今年度は神奈川区、鶴見区など横浜市東部地区で「旧東海道の神奈川地区を歩く」、「生麦事件の現場を巡る」などのテーマで8回、小田原地区では「小田原城周辺の寺社を巡る」などのテーマで2回探訪する計画です。

真夏の8月と真冬の2月は座学として五木寛之の「百寺巡礼」のDVD鑑賞を従来通り行う予定です。

さらに11月には楽しみのバス探訪として『房総の坂東札所と「波の伊八彫刻」の寺巡り』を計画しています。千葉県いすみ市方面で金沢区方面からは個人的には行きにくい場所ですがバスでは楽々で行けるものと期待しています。

当会は“わ”をモットーに楽しみながら勉強する会です。歩くことにより体力の維持・向上を図るとともに、いつまでも若々しい頭脳を保つこと目標に活動をしています。月一回の定例会の後は、希望者による「反省会」という名の懇親会を開催し、さらに絆を深めています。

現在会員は39名ですが、さらに多くの仲間と一緒に活動してゆきたいと思い新入会員を募集しています。この季節替わりを機に当会に参加し皆と一緒に活動してみませんか。

今年度の方針 「古文書を読む会」

代表 真田 雅行

1. 今年度活動状況

(1) 第一学習(第2木曜日)1月~12月

テーマ:野島浦「鈴木家文書」

主に江戸時代の江戸湾にからむ文書で特に漁業関係の記述が多く、江戸湾をめぐる漁業紛争の記述などに優れている。資料も多く、2018年中に終了せず2019年も引き続き学習予定であるが、終了次第磯子区の文書を学習する予定である。

(2) 第二学習(第4木曜日)1月~12月

テーマ:「艱難実録」

徳川慶喜の側近 備中松山藩主板倉勝静の江戸詰家臣辻七郎左衛門が敗者の側から戊辰戦争を回想したもので、慶喜と共に大阪城を脱出した勝静が江戸藩邸で辻と面会する時から筆

を起し、宇都宮~会津~箱館へと転戦し旧幕府軍として箱館五稜郭での敗戦により明治2年(1869)5月に勝静が新政府に自訴した時点で終わっている。この回想録は上中下に分れ119ページにわたるため12月ようやく下巻に入ったので、学習は更に2019年までかかる予定である。

(3) 基礎講座

休講中であつたが、新人加入もあり再開した。現在5名受講中。時間は第二、第四木曜日の本講座の前30分を利用。テキストとして以前“わ”の会学習で使用した「古文書に親しむ」を使用。

2. 来年度活動予定(1~12月)

(1) 第一学習

引き続き「鈴木家文書」を読み、終了次第磯子区の文書に移る予定。金沢区文書は一巡するため、隣区の磯子区の旧名主家に残る文書を学習の予定。安室家、堤家、斎藤家、浜田家等資料は多い。

(2) 第二学習

「艱難実録」が終了次第、江戸時代後半に発生したロシアとの下記二大事件をたどる。

① 伊勢の船頭「大黒屋光太夫」がオホーツク

海で遭難後女帝エカテリーナとペテルブルグで面会后無事帰国し見聞録を桂川甫周がまとめた「北槎聞略」、の抜粋を読む。

② 淡路の船頭「高田屋嘉兵衛」がエトロフ近海で操業中ロシアに拿捕され、幕府が捕らえたゴローニンとの人質交換で無事帰国した、その記録を学習予定。

(3) 基礎講座

当分の間継続の予定。

今年度の方針 「ふれあいの道歩こう会」

代表 江口 正彦

お陰様で「ふれあいの道歩こう会」は創設 16 年度目(当会は年度の仕切りを 1~12 月としている)に入っております。

今年度も創設時から標榜してきた安全・安心な山歩きを第一に、かつ、チームワークを大切にしながら分科会活動を継続して参ります。

「関東ふれあいの道」144 コース終了後は会員か

らのアンケートでコース案を募り、関東周辺のハイキングコースや軽登山コースと「関東ふれあいの道」のアンコールコースを花や紅葉などコースごとのベストシーズンを考慮したうえで立案、月例会を実施しています。

独自コース設定から 6 年度目に入り 69 番コースまで進んでいます。

【今年度の月例会について】

今年度も 8 月の夏休みを除く 11 回の月例会が組まれ既に 4 回が実施されました。標高差や歩行距離、時間さらに登山道の状況などから、「1. やさしい」、「2. ふつう」「3. きつい」の 3 段階に分類、11 コースのうち、「1. やさしい」が 1 回「2. ふつう」が 9 回 「3. きつい」が 1 回となっています。

例年 1 泊月例会を 1 回入れています、今年は平成 21 年に踏破した「関東ふれあいの道」栃木県

3 番コース「高原と牧場のみち」&4 番コース「湿原とせせらぎのみち」を古刹の古峰(ふるみね)神社を起点として 1 泊 2 日で歩くコースを予定しています。

会員数は 17 名(男性 13 名、女性 4 名)、出席率は目安としている 80%を超えています。

【安全・安心への対応】

今後も安全な山歩きを第一として、会の運営を行っていきます。

【2019 年-2020 年の計画】

会員から、行きたい山、興味ある山、聞いたことある山などのコースを募り昨年 12 月の総会で議論していただき一部修正し承認されました。2019 年は、1 月の千葉高宕山、5 月古峰ヶ原 12 月大霧山の 3 回は関東ふれあいの道を歩きます。

昨年 9 月に天候不良で中止した「矢倉岳～足柄峠」を 4 月に計画し無事実施出来ました。

年齢の高齢化に伴い会員からビジターへの変更(コース選択の為)もありました。64 歳から 85 歳と年齢層で平均年齢は 75 歳(4 月 1 日)と昨年と同じです。また、常時登録のビジターの方も 7 名と

なり賑やかな山行を楽しんでいます。

月例会は二人 1 組で順番に当番を決め、当番はコースの事前下見と計画書並びにマップ作成さらに、実施日は責任者としてリーダーを務めます。計画書・ふれあい記録・Web アルバムは、“わ”の会のホームページに掲載され、“わ”の会の会報へも毎回、月例会実施概要を掲載しています。

標榜してきた安全・安心第一の山歩きも無事故で 16 年度目に入り、今後もよどみなく分科会活動が継続されて行くことを願っております。

2019年度の鑑賞映画 「懐かしの映画を観る会」

代表 佐藤 晃

2018年度は24本総てこれまで当会で鑑賞した映画で編成している。2019年度は趣向を変えて、24本中14本は鑑賞済みの映画とし、10本は当会で初めて鑑賞する映画とした。

新規登場の映画は、日本映画では『羅生門』、『海よりもまだ深く』、『追憶』、『無法松の一生』の4本、外国映画では『ノッティングヒルの恋人』、『黄金のアデーレ』、『ハドソン川の奇跡』、『ドリーム』、『冒険者たち』、『ラ・ラ・ランド』の6本を登場させた。

当会としては、会の本流である「懐かしの映画の時代」、1950年～1980年代の映画を中心としながら、最近の映画を取り混ぜながら、映画を

より楽しく鑑賞したいと考えたからである。そこで、日本映画では最近話題となっている是枝裕和監督の『海よりもまだ深く』や、外国映画では『ハドソン川の奇跡』、とか、昨年のアカデミー賞、作品賞にノミネートされ、監督賞を得た『ラ・ラ・ランド』、『ドリーム』などを加え、新鮮味を出したつもりである。会員が一堂に会し、おかしな場面では揃って笑い、悲しい場面では胸をつまらせ、静粛ない一刻を共有するのも映画鑑賞の醍醐味である。

2019年度の鑑賞作品24本のミニ解説を以下に記したので、鑑賞の参考としていただきたい。

【2019年度 鑑賞映画のミニ解説】

4月8日 羅生門 1950年 大映

監督 黒澤 明

主演 三船敏郎、京マチ子

芥川龍之助の短篇『藪の中』を原作に、黒澤明が人間の心の闇を赤裸々に描いた。ヴェネツィア国際映画祭で日本人初の金獅子賞に輝き、黒澤明の名を世界中に広めた。(新規)

4月22日 巴里のアメリカ人 1951年 米

監督 ヴィンセント・ミネリ

主演 ジーン・ケリー、レスリー・キャロン

MGMの名プロデューサー、アーサー・フリードが、ジョージ・ガーシュインの管弦楽『巴里のアメリカ人』とガーシュインの名曲をちりばめて、最高のバレエミュージカル映画を送りだした。

5月13日 ノッティングヒルの恋人 1999年

英 監督 ロジャー・ミッシェル

主演 ジュリア・ロバーツ、ヒュー・グラント
ロンドン市内のノッティングヒルの書店主とハリウッドの大女優の恋の物語。主役を演じる冴えない書店主ヒュー・グラントと大女優のジュリア・

ロバーツの軽妙な演技は笑いを誘い、誰もが楽しめる映画となった。英国では製作費の10倍の興

業収入をあげたという。(新規)

5月27日 麗しのサブリナ 1954年 米

監督 ビリー・ワイルダー

主演 オードリー・ヘップバーン、ハンフリー・ボガード

オードリー・ヘップバーンの「ローマの休日」に次ぐ第2作。相手にはウィリアム・ホールデン、ハンフリー・ボガードという実力派男優を配し、大人の恋の駆け引きで、ヘップバーンの新しい魅力を引き出した。

6月10日 海よりもまだ深く 2016年 フジ

テレビ 監督 是枝裕和

主演 樹木希林、阿部 寛、真木よう子

多摩の団地を舞台に、母親と息子が繰り広げる家庭ドラマ。母親が樹木希林、息子が阿部寛と『歩いてても歩いてても』と同じ役割の母と子が、「こんなはずではなかった」と人生を振り返る。是枝ぶしが心に響く映画。(新規)

6月24日 黄金のアデーレ 2015年 英・米
監督 サイモン・カーティス
主演 ヘレン・ミレン

19世紀末の画家グスタフ・クリムトの名画「黄金のアデーレ」を巡って、所有者の姪がオーストリア政府との裁判の顛末を描いた作品である。モデルとなったアデーレ・ブロッホ＝パウアーは裕福な実業家の夫人であったが、ユダヤ人であったために自分が所有する肖像画をナチスドイツに没収され、第二次大戦後はオーストリア政府に移管されていた。その肖像画をアデーレの姪のマリアが国に返還を求めて裁判を起こし、その顛末をマリアの実体験をもとに映画化したものである。映画に登場する肖像画はまばゆいばかりの光りを放ち、観る者を圧倒する。(新規)

7月8日 めまい 1958年 米
監督 アルフレッド・ヒッチコック

主演 J・スチュアート、キム・ノバック
A・ヒッチコックのサスペンス映画の傑作。ひとりのヒロインがふたりの人物を演じるというトリックを使い、完全犯罪を目論むという物語。二転三転のどんでん返しが用意され観客を翻弄する。キム・ノバックの妖艶な美貌が人気を集めた。

7月22日 寅次郎と殿様 1977年 松竹
監督 山田洋次

主演 渥美清、嵐寛寿郎、三木のり平、真野響子
男はつらいよシリーズ第19作。愛媛県の城下町大洲で寅次郎は奇妙な老人と知り合う。老人にはアラカンこと嵐寛寿郎が扮し、大洲の殿様の末裔である。

誘われて寅次郎は殿様の屋敷に泊まるが、執事の三木のり平との絡みが秀逸で昭和黄金時代の喜劇を髣髴させる。マドンナは真野響子だが準役の嵐寛寿郎にお株をとられた。

8月5日 大いなる西部 1958年 米国
監督 ウィリアム・ワイラー

主演 グレゴリー・ペック、ジーン・シモンズ
ウィリアム・ワイラーとグレゴリー・ペックが『ローマの休日』以来のコンビを組んだ作品。1870年代のテキサスを舞台に、フロンティア精神に燃えた西部人と東部から来た青年の軋轢を通して、新しい西部の夜明けを描いた。

8月26日 ひまわり 1970年 伊
監督 ヴィットリオ・デ・シーカ

主演 マルチェロ・マストロヤンニ、ソフィア・ローレン

1970年代イタリアの黄金トリオといわれたのがヴィットリオ・デ・シーカとマルチェロ・マストロヤンニ、ソフィア・ローレンのトリオで、そのトリオで戦争の悲劇を描いた名作。ヘンリー・マンシーニが作曲した主題曲の哀切な旋律は観る者の胸を打つ。

9月9日 コーラスライン 1985年 米
監督 リチャード・アッテンボロー

主演 マイケル・ダグラス
ブロードウェイのスターを夢みる若きダンサーたちの熾烈なオーディションを描いたミュージカル映画である。1975年に大ヒットした舞台の映画化である。オーディションでひとりひとりが語り、踊る若者の人生は感動的である。

9月23日 おとうと 1960年 大映
監督 市川崑

主演 岸恵子 川口浩
明治の文豪幸田露伴の次女幸田文の自伝的小説の映画化である。岸恵子の姉と川口浩の姉弟愛を描いた市川監督の代表作。情緒的にならず、乾いた表現を意図した監督は、カメラマン宮川一夫に「色のない色」を注文した。宮川は監督の意図を体し、アグファカラーフィルムを用い、モノクローム用の照明を当て、特殊な現像をして、色のない色を表現して雰囲気盛り上げたという。

10月14日 日の名残り 1993年 米
監督 J・アイボリー

主演 アンソニー・ホプキンス、エマ・トンプソン
ノーベル文学賞受賞者カズオ・イシグロの小説をジェームス・アイボリーが映画化した。イギリスのカントリーハウスの伝統的日常生活を格調高く捉え、執事と女中頭の淡い恋を感情こめて描いた秀作。

10月28日 ハドソン川の奇跡 2016年 米
監督 クリント・イーストウッド

主演 トム・ハンクス
2009年奇跡的生還を成し遂げたハドソン川の不時着水事故とその後の経緯を映画化。原題の『サリー』は事故機長のニックネームで、ハドソン川の奇跡の裏側にあった機長の苦悩を事実に基づいて描いている。(新規)

11月11日 二十四の瞳 1954年 松竹

監督 木下恵介

主演 高峰秀子、田村高広

香川県小豆島を舞台に、20年以上にわたる教師と生徒との交流を描いた壺井栄の原作を、木下恵介が監督し映画化した。描かれた時代は、昭和初期の平和な時代から次第に戦争の足音が聞こえてくる時代、戦争最中の時代、戦後新しい時代と二十余年にわたる生徒と教師の触れ合いを叙情的に描いた。涙なしには見られない映画で、木下恵介の反戦の姿勢が色濃く反映されている。

11月25日 ドリーム 2016年 米

監督 セオドア・メルフィ

出演 タラジ・P・ヘンソン

1960年代、宇宙船計画でソ連に遅れをとったアメリカ。NASAのラングレー研究所でコンピューターの計算手として働く優秀な4人の黒人女性が、人種差別に耐えながら能力を発揮して、マーキュリーアトラス6号打ち上げに大きく貢献する物語。実話をもとにした映画で、米国では、映画館に多くの観客が押し寄せ、製作費の10倍の興業成績を上げたという。(新規)

12月9日 追憶 2017年 日本

監督 降旗康男

主演 岡田准一、小栗旬、柄本佑、安藤サクラ
高倉健主演「駅STATION」「鉄道員」の名作を残した降旗康男監督とカメラマンの木村大作がタッグを組んで、岡田准一、小栗旬、柄本佑、安藤サクラの旬の若手俳優を起用して作ったヒューマンサスペンスドラマである。能登半島の漁村で親に捨てられた3人の少年が秘密を抱えたまま成人し、25年後再び出会うが、ある事件に巻き込まれる……(新規)

12月23日 王様と私 1956年 米

監督 ウォルター・ヤング

主演 ユル・プリンナー、デボラ・カー

シャムの王様と家庭教師アンナの交流を描いたブロードウェイミュージカルの映画化。王様とアンナの踊る「シャル・ウィ・ダンス」はミュージカル映画の中でも忘れえぬ名場面である。

1月13日 無法松の一生 1958年 東宝

監督 稲垣浩

主演 三船敏郎、高峰秀子

岩下俊作原作の「無法松の一生」は戦時中(1943年)に稲垣浩によって映画化されたが、検閲によりカットが多く、稲垣は不満だった。そこで、稲垣は再度映画化に挑み、その無念を晴らした。作

品はヴェネツィア映画祭で金獅子賞を得ている。(新規)

1月27日 冒険者たち 1967年 仏

監督 ロベール・アンリコ

主演 アラン・ドロン、リノ・ヴァンチュラ、ジョアンナ・シムカス

それぞれの夢に破れた男2人、女1人の3人は、共に宝探しの冒険に旅立つ。宝探しの結末は?主演のアラン・ドロンは33歳、人気絶頂の頃の出演。共演のジョアンナ・シムカスは可憐な容姿で人気を集めたが、後にシドニー・ポワチエと結婚して引退した。(新規)

2月10日 ラ・ラ・ランド 2016年 米

監督 デミアン・チャゼル

主演 ライアン・ゴズリング、エマ・ストーン

ロマンティック・コメディ・ミュージカル映画。俳優志望とピアニストの恋を描いた映画。2016年に公開され、高い評価を得た。アカデミー賞では史上最高の14部門にノミネートされ(「タイタニック」「イヴの総て」と同数)、監督、主演女優(エマ・ストーン)等6部門を獲得。作品賞は惜しくも逸した。(新規)

2月24日 飢餓海峡 1964年 東映

監督 内田吐夢

主演 三国連太郎、左幸子

内田吐夢監督がその映画人生の総決算として提示した作品で3時間を超える大作。水上勉原作の映画化。社会の底辺で差別されながら生きている男女の悲恋ドラマ。アカデミー外国語映画賞を得ている。

3月9日 かくも長き不在 1960年 仏

監督 アンリ・コルビ

主演 アリダ・ヴァリ

監督アンリ・コルビが、マルグリッド・デュラスのオリジナルシナリオを得て、戦後16年後に残る戦争の傷痕を描いた。ラストはあいまいだが、解釈は観る人に任せている。1961年のカンヌ映画祭でグランプリを受賞。

3月23日 パベットの晩餐会 1987年 デン

マーク 監督 ガブリエル・アクセル

主演 ステファーム・オードラン

19世紀後半、デンマークの小さな漁村に住むプロテスタントの姉妹と村人との交流を描いたほのぼのとした心温まる映画である。アカデミー外国語映画賞を得ている。

今年度の方針 「浮雲俳句会」

代表 北野 清市

「浮雲俳句会」の今年度の方針は、“岬（崎）俳句”へのトライと、“歳時記の季題の活用”の徹底を図ることとした。

第一の“岬（崎）俳句”へのトライについては、日本列島を俯瞰したとき日本列島には多くの“岬（崎）”が存在する。

このうち7月に石廊崎（駿河湾と富士山にも着目）、8月に潮岬（日本列島の深海探査にも配慮）、9月に室戸岬（四国の骨格をなす存在にも着目）、11月に大間崎（鮪の一本釣りに挑戦）、12月に犬吠崎（日本列島の東西の境界をも考慮）、年が改まって1月に宗谷岬（日本の最北端の風景にも着目）、2月に越前岬（日本海サイドの岬の様子）、3月に観音崎（東京湾の出入口の様相）、4月に能登の岬（日本海の分水嶺に挑戦）、5月に佐多岬（日本列島西端の様子）に兼題①としてアタックする。

第二の“歳時記（季語を集めて分類・整理し、解説・例句を揚げた本。季寄せとも言い概略2万もの季語を集大成している。）の季題の活用”の徹底については、季題の基準になる一季を、それぞれ時候・天文・地理・人事・宗教・動物・植物に分類。分類した7分類の季題は、句会毎に分類を順番に替えてゆき、必ずその季題の中から例句を一句ずつ作句する。因みに

一湾に 漁港向き合う 雲の峰

この場合、「雲の峰」が7分類に分類された夏の「天文」の一季語で、これを活用した例句を一句作成したのである。また

湖尻まで 道のあれこれ 心太

この場合、「心太（ところてん）」が7分類に分類された夏の「人事」の一季語で、これを活用して例句を一句作成したのである。

具体的には、今年度7月に夏の「時候」から始め、8月に秋の「天文」、9月に秋の「地理」、11月に冬の「人事」、12月に冬の「宗教」、年が改まって1月に冬の「動物」、2月に春の「植物」。以下これと同じように3月に春の「時候」、4月に春の「天文」、5月に夏の「地理」……と続けて、季題の活用の徹底を兼題②として促進して参りたい。

今年度の方針 「パソコンを使いこなす会」

代表 林 洋

「パソコンを使いこなす会」ではパソコン操作でお困りの会員、パソコンをもっと上手に使いたい会員のためにノートパソコンを持ち寄ってみんなで問題点を解決することを目的として活動しています。

原則として、活動日は毎月第2・第3火曜日午前に、金沢地区センターや晴嵐かなざわで、次のような勉強をしています。

2018年度テーマ：

- One Drive・Google Drive・Drop Box 等クラウドサーバーの使い方
- YouTube 音楽のダウンロード等パソコンの操作範囲を広げる技術
- PowerPoint でのプレゼンテーション資料作成
- Scratch プログラムを使ったゲームの作成、等に取り組みました。

各回の出席者数（平均）は、18.3名。

19名以上の出席者のあったテーマは次のとおりで、会員の興味の方向が見て取れます。

- Explore
- EXCEL 文字とセルの書式
- Google Drive
- YouTube ダウンロード
- プログラミング Scratch
- WORD 名刺の作成
- 日本語入力の常識
- Windows10
- WORD 募集案内作成
- EXCEL 数式や関数の利用
- One Drive

パソコンを使いこなす会も設立から 11 年が経過し、その間の在籍者は累計 60 名で、現在の会員は 23 名です。内、9 名の方が設立当初からの会員です。

2019年度テーマ：

実施計画を立てるに当たって、分科会開始以来 11 年間で学んだテーマ全 267 項目を整理して会員に提示し、今後学習したい項目を調査しました。その結果を参考にして

- パソコンの使い勝手を良くすること
- Internet の One Drive・Drop Box 等の Cloud ストレージの使い方
- ホームページ作成・スマホの使い方等新しい分野の取り組み
- 市販教科書を使った Excel の基本的な勉強、等を続けます。

なお、10 周年記念行事の一環として「パソコン相談会」を実施し、会員から知りたいこと・教わりたいことを挙げてもらい、それを別の会員が一对一で教えるかたちをとりました。お互いの勉強になり、相互理解を深める機会になったので、通常分科会でも時々この形の演習をやっていききたいと思います。

パソコンやインターネットは現代生活の必須インフラです。“わ”の会の学習会、ふれあいの道歩こう会、寺社を巡る会、懐かしの映画を見る会でお目にかかった会員の方々から具体的な質問があり、お答えすることも何度かありました。今後もこのような個別相談に取り組んで問題を解決する能力を高め、会員間でも情報共有して活動範囲を広げたいと思います。

今年度からの新入会員大歓迎です。ご遠慮なく声をかけてください。

運営委員 新任挨拶

斧原 良一

私は、金沢町で生まれ、以来70年同じ場所に住んでいます。年齢とともに金沢の歴史に対する興味がわいてきて、7年前に“わ”の会に入れていただきました。以前から運営委員のお話をいただいていたのですが余裕がなく、昨年、親の介護のため退職したのを機会に、お手伝いさせていただくことにしました。郷土の歴史知識も聞きかじり程度で、“わ”の会の運営についてもまだ何もわからず、介護のハンディもある中ですが、可能な範囲で務めさせ

ていただきます。

趣味としては、小柴の農園を借りて野菜作りに励んでいます。また、自宅が金沢山（子供のころは「ぼうずやま」と呼んでいた）の下にあるため、冬場は野鳥のレストランを開業しており、訪れる鳥の写真を撮って楽しんでいます。分科会にはまだ所属していませんが、時間の余裕があれば何かやってみたいと思っています。よろしく願いいたします。

運営委員 新任挨拶

工藤 君明

“わ”の会に入会して、一年にすぎませんが、このたび縁があって、運営委員を引き受けることになりました。

金沢区に移ってまいりましてほぼ36年、人生の半分となりました。残りの半分は故郷の青森で過ごし、さらに残りの半分を東京で、またさらに残りの半分を広島におりました。工学系の研究開発に関わってきましたので、日本の歴史についてはNHKの大河ドラマのレベルですし、郷土史に

も疎くて、金沢区にいちばん長く暮らしてきましたけれども、家には寝に帰るだけでしたから、横浜のことはほとんどなにも知りませんでした。退職後に街歩きをしながら、金沢区周辺の歴史をちょっとかじるようになり、当会の活動に興味をもちました。

微力を尽くして、当会の発展に貢献してまいりつもりでありますので、今後とも、諸先輩方のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

運営委員 新任挨拶

田野実 裕之

今年度より運営委員を引き受けることとなりました。数年前には事典の編集委員に、昨年度には会報の編集委員と探訪の委員と、なし崩し的に巻き込まれていくので、警戒してはいたのですが、

結果的に、だいぶ前に行った当時の代表との約束を果たすことができたのかと思っております。引き受けた以上は、多少なりとも皆様のお役に立てるよう尽力してまいりますので、ご指導のほどよ

ろしくお願いします。

“わ”の会とは、地域の歴史に興味があったことから入会して10余年が経ちますが、ほとんどは学習会への出席だけでした。しかし、一昨年度、寺社を巡る会とふれあいの道歩こう会にも加えていただくと、皆様方とも顔の見えるお付き合いをさせていただくことができたし、会への親近感も深まり当事者意識もだいぶできてまいりました。

この会では、世代交代が比較的よく行われてい

ることに感心しております。諸先輩方が築いてこられたよい環境などを引き継いでいくことは大切なことであり、その一助になればとも思っております。

最後に簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれは上大岡、小学校2年のときに富岡に移り住み、もう60余年が経ちます。仕事の関係で数年間は富岡の実家を離れましたが、60年もいれば、郷土への愛着も沸くものです。ということで、よろしくお願いいたします。

運営委員 新任挨拶

三浦 啓一

昨年“わ”の会に入会させていただきました。金沢区に住んで今年で34年になります。

現役で働いていた頃には、全く地域活動とは縁もなく、金沢の歴史すら無知の状態でした。第二の人生をスタートさせてからは、好きな歴史、特にお膝元の金沢の歴史を学ぶことから始めましたが、まさに多くの歴史が残る「街」を再発見いたしました。

人伝えに金沢の歴史を愛する人達の団体がある

ことをお聞きし、“わ”の会、さらには「寺社を巡る会」に入会いたしました。

現在、自治会活動等に携わっておりますが、この度、運営委員を仰せつかり、戸惑いもありましたが、皆様と共に“わ”の会の活動を充実したものにしていくためにも、少しでもお役に立てばと思い引き受けさせていただきました。

どうぞよろしくお願いいたします。

運営委員 退任挨拶

深澤 勝美

運営委員になって三年たち此度運営委員やめることになりました。

運営委員会は種々の連絡事項等はメールできます。すぐに何かにメモしておかないと忘れるのでは……このまま運営委員を続けるのは無理と思いました。

運営委員の皆様の活動はすばらしく、“わ”の会講演会当日の準備は事前のこまやかな打ち合わせにあると思いました。私は学ぶことが多くいい刺激になりました。

会員の皆様、運営委員の皆さま有難う御座いました。

第14回公開歴史講座

『金沢地先の埋立と

旧長浜検疫所・横浜港』

会報編集委員 渡邊 紀一

開催日：平成31年2月9日（土）

9：30～12：00

会場：能見台地区センター

講師：NPO法人野口英世よこはま顕彰会

理事長 田中 常義 氏



【概要】

【概説】

第二次世界大戦後高成長期において横浜都心部は住宅・商店・工場が無秩序に混在するスプロール現象が進みつつあった。また、工場立地法の改正により住工混在地区の中小の工場では今後操業の継続が困難になる懸念も生じた。

本事業は、都心部からの工場の移転用地を整備し、工場従業員や都市基盤再構築による移転の受け皿、さらに住宅難に配慮する住宅地を用意するものである。横浜市に残る最後の自然海岸を埋め立てることからその代替えとなる海浜公園も建設する。横浜駅と桜木町の間海側に広がる三菱重工業横浜造船所を当地および本牧へ移転させ、跡地

を都心部強化（横浜みなとみらい）に充当するが一時的な財政収入を目的とした、大企業の新規誘致はしないこととした。本計画が持ち上がった前後に、東京湾の千葉県側には製鉄所や石油コンビナート、横須賀市では造船所や自動車工場が誘致されたのとは対照的である。

金沢地先埋め立て事業は横浜市金沢区の沖合を約660万㎡に亘り埋め立て、都心部より工場を移転させ都市機能を再整備するとともに、住宅や海浜公園を造成する都市計画事業。横浜市六大事業の一つとして1971年（昭和46年）着工、1988年完成した。

【背景】

第二次大戦以前の金沢は、金沢八景に代表されるように景勝地であり、富岡から柴にかけての海岸では海苔・ワカメの養殖の漁業が行われていた

が戦時中に日平産業や文寿堂富岡工場（海軍関係の印刷物を扱った印刷会社。1950年倒産）など軍需産業が進出。軍の司令による埋め立ても行わ

れた。戦災では大きな被害を免れたため、京浜地区より移り住む人々が急増。昭和 30 年代には、京急興行による富岡、西武系の国土計画興行による西柴をはじめ種々の業者による宅地開発が急増した。その多くが丘陵の傾斜地を階段状に造成するもので、下水道や道路など公共施設の整備が追いつかずいた。1963 年ごろには大手業者から地元漁協に対し海面埋め立ての打診があったとの情報が市にもたらされ、独自の埋め立て構想を持っていた市は対応に迫られた。記録に残る埋め立て構想とは 1963 年 3 月に横浜国際港都建設審議会に諮問された横浜国際港総合基幹計画改定案が初めてで、金沢地先 330ha に工場移転用地と、埋め立て地の一部及び富岡・釜利谷の土砂採取地に住宅地を造成するもので、工業用地が主体であった。1965 年 10 月に発行された。



(2007 年の航空写真中央付近が金沢地先の埋立地)

「横浜のまちづくり」では六大事業の他のプランと共に埋め立て案が初めて市民に示された。この案では埋め立て面積を増加するとともに用途を工場・住宅で半々にした。同年 4 月の「横浜国際港建設福祉計画案」では、市民の健康的文化的生活を営む上に必要な一大臨海公園が計画に盛り込まれた。1968 年 7 月には横浜市六大事業の一環として正式に決定された。当初は 1968 年度から

1972 年にかけての 5 ヶ年の事業として計画され根岸湾鳥浜町から富岡川にかけての 200 万㎡を 1 号地として金沢木材埠頭や三菱重工業横浜製作所、下水処理場などに充てられ、富岡川から長浜水路にかけての 2 号地は清掃工場や流通関連用地、貨物ヤード、以南の 3 号地は主として中小企業用地とされる計画であった。工区の分割には、防災上の利点のほか、在日米軍小柴貯油施設および横浜検疫所長浜措置場の調整に期間を要することが予想され、当該区域外を先行して着工する狙いがあった。その後、漁業権交渉や反対運動、土砂の入手先変更により 1971 年と 1974 に 2 度計画変更される。

計画地内には金沢、柴、富岡の三つの漁業協同組合が漁業権を有し(組合員数それぞれ 196 人、167 人、95 人)、海苔・ワカメの養殖や底引き網などを行っていた。富岡・金沢の漁協は 1968 年 11 月に交渉委員を選定し交渉の場に着いたが柴漁協は交渉委員の選定が遅れ難航した。3 組合は共同漁業権を有しており 1 組合を残しての妥結は出来ない。市長の説得により 1969 年 12 月柴漁協の対策委員の選定がなされ交渉開始、3 組合の合意を見たのは 1970 年 2 月のことだった。柴・金沢と本牧の漁協は後に解散し、1981 年に横浜市漁業協同組合が設立された。

在日米軍小柴貯油施設は金沢区柴町から長浜にかけての丘陵地に 26 基の燃料タンクと沖合に A・B 二つのシーバース(沖合に係留施設を設け陸岸との間パイプラインなどで連結したもの)を有していた。A バースで大型タンカーから陸揚げした航空燃料を貯蔵し、B バースで小型タンカーに積み込み鶴見貯油施設に移送するものだった。1981 年に燃料タンクの爆発事故を起こしている。2005 年 12 月 14 日には小柴貯油施設の陸上部分全域と制限水域の一部が返還され陸上部は公園とする計画がなされた。

長浜措置場は、船舶に感染症患者が出た場合に

回航し、検疫を行う施設である。横浜港・東京港をはじめ千葉県や東北地方も対象としていたが、この施設がそのまま残ると埋め立て後は工場地区や住宅地区を縫って患者が搬送されることとなる。横浜検疫所長や厚生大臣との折衝の結果、富岡川の河口に代替の物揚場を設け機能を移転することとなった。この施設はかつて野口英世が勤務した

場所であり、長浜野口記念公園内の横浜市長浜ホールに旧細菌検査室が保存・公開されている。

1971年3月15日に金沢地先埋立事業の起工式を実施。1974年6月29日に1号地、1975年8月23日2号地が竣工、1988年5月7日に金沢地先埋立事業完成記念式典が開催された。

【資金計画】

従来の埋立事業では、進出企業から予納金を充当することが可能であるが、都市基盤再整備を目的とした本事業ではその手法を採ることができない。総事業費412億8901万円のうち288億円を起債し、残りを埋立地の売却で賄うこととした。地方債の発行は1968年度～1970年度各90億円、1971年度18億円を予定していたが国の地方債計画の枠では処理しきれない額であっ

た。そこで大蔵省と折衝、ドイツマルクを発行することとなった。当初は4回発行される予定であったが、工期が遅れているうちに国内債の方が安くなったことと、外債のだぶつきから政府が発行を認めなくなった経緯がある。事業費は1971年度の計画変更で921億6900万円、さらに1974年の計画変更で1776億8800万円まで増加した。

【土砂の調達と反対運動】

この埋立計画は当初より漁業関係者から根強い反対運動があったが、1971年1月漸く補償交渉がまとまった。同年11月事業予算と工期がほぼ2倍になる計画変更が発表されると、反対派の市民運動が強くなり2号地以降の埋め立て中止、工場移転をやめ住宅地とすることを主張。連合町内会などを中心とした移転推進派も国道16号と湾岸道路間を緑地とすること、早急な下水処理場の開設などを主張。計画変更案は、長浜措置場の景観保全や、人造湖やサイクリングロードを配した公園の造成を付帯意見に盛り込み可決された。

長浜水路以南および海の公園に用いる土砂は、千葉県富津市の浅間山から採取することが検討されていたが、千葉県が土砂を県外に持ち出さない方針を打ち出したことや、容積当たりの単価が比較的高価であったことから、京急電鉄が金沢区

釜利谷町で計画している宅地造成で生じる残土の利用に切り替えた。この計画は「釜利谷の緑を削って海岸を埋め立てる二重の自然破壊である」として反対派の態度を硬化させる原因となった。さらに1973年のオイルショックにより釜利谷開発の見通しは立たなくなった。

横浜市鶴見区と川崎市川崎区に跨る扇島は、千葉県が土砂を県外へ持ちださない方針を打ち出す前に1億2500万 m^3 を確保し、このうち8000万 m^3 を使い埋立をほぼ完成させていた。川崎市や東京都も使用を希望した。結局横浜市はこのうち2000万 m^3 を使用できることになった。釜利谷地区は開発面積中の宅地の比率を下げ、1978に許可が下りた。残土は金沢地先埋立に使用され、ベルトコンベアで搬入されることになったが、その量は見込みの1/10程度の約300万 m^3 ほどであった。

【土地の利用】

埋立地のほぼ中央を南北に金沢緑地（グリーンベルト）と国道 357 号（東京湾岸道路）が通り、一部区間で高速湾岸線が並行する。金沢緑地より西側（内陸側）が住宅地、海側が主に工業用地として利用される。西側のうち旧海岸線が湾岸道路と接する小柴崎以北が並木一丁目～三丁目、以南が柴町の一部となる。東側は長浜水路以北が幸浦 1・2 丁目、以南が福浦 1～3 丁目となる。このうち並木一丁目と幸浦 1 丁目が 1 号地（第一期埋立地）、幸浦 2 丁目、並木二丁目と並木三丁目の内長浜水路の北側が 2 号地、福浦 1～3 丁目、並木 3 丁目のうち長浜水路の南側、柴町の一部、八景島が 3 号地となる。首都高速道路湾岸線から横浜横須賀道路に至る高速道路は、埋め立て地南端

から海の公園、野島公園、六浦駅南方を通り逗子市との市境付近で横浜横須賀道路に合流する計画であったが、並木付近から西進し能見台南方を通して釜利谷ジャンクションに至るルート（横浜横須賀道路金沢支線）に変更された。

住宅地区の住民や工場従業員の通勤、横浜市立大学付属病院などの公共施設への移動手段として、根岸線と接続する新杉田駅と京急金沢八景駅を結ぶ新交通システム金沢シーサイドラインが 1984 年に着工され、1989 年に開業した。並木北駅から海の公園南口駅にかけての 9 駅が本埋立ての事業の区域内に設けられているが、その予定地の一部は横浜シーサイドラインの車両基地に転用されている。

【金沢シーサイドタウン】

金沢シーサイドタウンについて都市再生機構は並木一丁目、並木二丁目、並木三丁目、柴の各団地、金沢区役所は並木、富岡東二丁目および幸浦・福浦・昭和町・鳥浜町と定義している。並木一丁目団地は日本住宅公団（現都市再生機構）、横浜市住宅供給公社、横浜市勤労者住宅協会、横浜市建築局（市営住宅）などが中心となり 1978 年 5 月に入居を開始した。2015 年現在、本埋立事業範囲外の富岡などを含め 9660 世帯 21600 人が暮らす。その 97% が集合住宅に暮らし、住民数ベースで 3～5 階建ての中層棟 51%、6 階建て以上高層棟 45% で、一戸建ての比率は低い。分譲住宅など持ち家率 59%、UR 賃貸・県営住宅などの公的賃貸住宅 32%、社宅等 6% の割合となっている。並木一～三丁目の各丁目には外周道路が

設けられ、団地内の通過交通を遮断するとともに、歩行者専用道路に沿って学校・保育園や日用品店・スーパーなどを計画的に配置した。並木一丁目は外道路外側に中・高層棟、内側に碁盤の目状に低層住宅を配置。並木二・三丁目は格子状の 패턴の中高層住宅と低層住宅を混在させている。憩い空間となっている。並木二・三丁目の間の地下には横浜横須賀道路金沢支線の並木トンネルが通り、その西側で並木インターチェンジが接続している。トンネルの北側はイオンを核とした大型ショッピング「ピアレ横浜」、南側は三菱重工業の社宅と横浜税務署がある。

地区内の住宅の多くは 1979 年から 1984 年にかけて入居し概ね 30 年以上が経過しことから、高齢化と緩やかな人口減少が進行している。

【幸浦・福浦】

都心部からの工場移転に際し、都心部機能強化や防災計画、生活環境改善の必要性を考慮し、緑町（現みなとみらい）、横浜駅東口・西口周辺、岡野西平沼地区、星川・天王町地区、新山下地区を

優先度の高い第一種工場移転地区に選定。上大岡、井土ヶ谷、戸塚駅周辺、広池・滝頭地区をこれに次ぐ第二種工場移転地区に選定した。移転事業所の業種別内訳は機械（輸送用機械、電気機械含む）、

金属、建設、素材、食料品、再生資源などとなっている。三菱重工業横浜造船所は都心部に 35ha の敷地を持ち、市はこの移転代替地として 56ha を用意した。しかし工場立地法の制定により緑被率 20%以上、公共施設用地 25%以上、造船所の施設用地 30%以下と規定されたため生産施設用地は 16.8ha に減少する。このため三菱重工は約 100ha の拡張を要求した。市は追加の埋立を検討したが住民の反対により困難とみられた。その後深刻な不況で追加購入ができなくなったとして 1976 年 3 月、当初予定の面積で売買契約がなされた。横浜造船所は 1983 年に本牧・金沢 2 工場体制の三菱重工業横浜製作所に名称変更、金沢工場では中小型火力発電システム、エンジン、環境装置などを製造。2014 年から三菱日立パワーシステムズに移管したが 2015 年には他工場に生産を移管、閉鎖した。

磯子からは首都高速湾岸線建設地にかかる日本発条が移転してきている。西武 Gr の杉田ゴルフ場、南横浜自動車学校等…も進出しており、また幸浦には金沢流通団地として西濃運輸をはじめ運輸業卸売業者が多く進出、富士フィルム輸出流通

センターなどの物流拠点が設けられている。

金沢木材埠頭は新山下の貯木場機能を移転すべく 1974 年に完成を見たが原木の輸入需要が無くなり、横浜ベイサイドマリーナ、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドとして再整備されている。産業振興センター駅前には中小企業向けの事業支援や福利厚生を目的とした研修施設・スポーツ施設を備えた横浜産業振興センターなど金沢ハイテクセンターが建つ。

その他の公共施設では幸浦に横浜市資源局金沢清掃工場とその余熱を利用した温水プール、日帰り入浴施設を備えたリネツ金沢が併設されている。また金沢水再生センター(下水処理場)および南部汚泥資源化センターがあり、工業団地内には染色や表面処理など特殊な廃液を排出する事業者が進出していることから、シアン、クロム、廃酸、廃アルカリ、染色廃液などを処理する排水処理場が福浦に設けられている。横浜消防局横浜ヘリポートは 1963 年の横浜国際港建設総合基幹計画からの構想がある。横浜市立大学医学部は 1991 年に福浦に移転、隣接して横浜市立大学付属病院が開院した。

【公園・緑地】

本埋立事業はかつての海岸線沿いに約 53ha、住宅地と幹線道路工場団地間の緩衝緑地(金沢緑地) 15ha、水際緑地 9ha、海の公園 46ha、八景島 24ha の「緑のネットワーク」が計画された。旧海岸線沿いには富岡総合公園、富岡八幡公園、長浜公園、小柴崎緑道が整備され 1997 年には横浜検疫所措置場跡地に野口記念公園が開園した。さらに、2005 年に返還された小柴貯油施設は小柴崎緑道と一体となった公園として 2017 年度より整備に着手。金沢緑地は公害防止事業団により横浜地区共同福利施設として建設され 1983 年 6 月竣工した。鳥浜駅付近から柴町までの国道 357 号線の西側に沿い、南北約 4 km の帯状敷地を持つ。面積 153,127 m²。盛り土の上に

樹林と 20ヶ所の休憩コーナーが設けられ、住宅地と幹線道路・工場団地間の視覚の遮断や騒音防止、大気浄化などを目的としている。

「金沢埋立地水際線緑地」は長浜水路河口付近から埋立地の東端・南端の海岸沿いに柴航路橋までの 3.1 km で散策やジョギング、ピクニックができる公園として 1988 年 7 月完成した。横浜ヘリポートを見下ろす南東角には展望広場や芝生広場があり、クロマツやオオシマザクラが植えられている。

海の公園および八景島は 1968 年の計画では作らず、陸に接した埋立地の一部を緑地にするものであった。海女によるアワビや真珠の採取、高速鉄道の海中通過などの構想もあった。1971 年

に発表された「海の公園基本構想」では陸側に30haと、現在より金沢湾の奥に40haの島を設け、浜辺に延長300m・島に360mの人工砂浜を設け、陸と島に挟まれた水域ではボート遊びができるようにするものであった。この構想では島と浜間が狭く水質汚染が懸念された。

これを受け1978年「海の公園新基本構想」を発表。合計面積70haは変更しないものの島を24haに縮小し沖合へ移動するとともに、陸側の砂浜を1000mに拡大した。海の公園は、すでに完成した幕張海浜公園や稲毛海浜公園とは異なり、計画段階から砂浜とすることが盛り込まれた。海

岸工学だけでなく潮干狩りができる浜を目指したことから生物学的にも検討が重ねられた。砂浜の養護には埋立にも使われた千葉県浅間山の砂が使用された。1986年10月31日には砂浜のある陸側を「海の公園」、島部を「八景島」と町名が決定した。海の公園海水浴場は1980年の暫定開業を経て1988年7月2日に正式オープン。八景島には1993年5月8日にテーマパーク「横浜八景島シーパラダイス」が開園した。

柴漁港は海の公園と3号地の間に再整備され、金沢漁港は海の公園の南西端に移転した。



2017 年度公開歴史講座アンケート集計と実施報告

1. アンケート集計

『金沢地先の埋立てと旧長浜検疫所・横浜港』 講師：田中 常義氏

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	39	5	44(41.9)	3	47	
女	5	2	7(33.3)	0	7		
計	44	7	51(40.5)	3	54		

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
23名	8名	2名	1名

- ・ウイトに富んだお話を楽しみながら詳しくご講演を拝聴させていただきました。本を購入することでさらに詳しく分かりました。神奈川県・西区から移転した所のことなどを思い出しながらオリンピックの頃(直前)の富岡・長浜あそこの深さなども思い出しながら
- ・金沢埋立の歴史と共に田中先生の熱心な講演ありがとうございました、計画・遂行にご自身の哲学が感じられました
- ・配布資料、説明スライドもわかり易かった
- ・飛鳥田市政の六大事業が横浜市のまちづくりの原型で50年経て今の横浜、金沢区のあることがよく分かった。50年、100年先を見据えた構想の重要性が行政の仕事なのだと分かった。直接関与した講師の話は実感が伴い、非常によかった
- ・質問 1. 埋立地域は68ha=6568万㎡(西区面積にほぼ匹敵) ≒ 2km×35km と云う事?
2. 工場地区 1,000社 38,000人 住宅地区 9,600戸 21,000人 ←当初の計画概数はどうだった ?
マイクをもう少し口元に近づければ話の内容がつかみやすい、マイクをポケットにはさむ機器にかえたら?... 86-87才とのこと、有難う
- ・能見台の住民として最も身近な土地の成り立ちは興味があった。並木の埋立て以前にあさり採りの経験もあり、埋めたて中の様子も見に行った、改めて地元の発祥の様子が分かり大変勉強になった、資料がすばらしかった
- ・話も判り易く、聞きやすかった。埋立についての苦労などが解り有意義であった。人の住む近くに水や緑のあることの大切さをおそわった
- ・自分の住んでいる町の成立を詳細に御説明いただけよく分かりました
- ・よく理解できました
- ・さすが「金沢地先埋立」第一者、大変良い、復習になった。ありがとうございました。
- ・資料を使ってくださったので、大変分かりやすかった

- 埋め立てのプロセスはよくわからなかったが、エピソードも交えて全体像を見せていただいた
- 今後もがんばってください
- 埋立関係は割合、身近な話で田中講師の実話に基づいた話は大変面白かった
- 以前家から見えていた海が、埋立の為に見えなくなりました。しかし今日のお話をきいてその恨みが解消した想いです。
- 個々の事項は知っているつもりでも、全体を整理してお話いただいたのが良かった。いろいろな制約の中で計画を推進する苦勞がわかりました
- 開発の担当者でないと話せないことをおききできた
- 金沢地先埋立地の歴史的経過がよく判りました。金沢緑の浜辺の構想、実現が素晴らしい
- 良かった、但し資料がほとんど不鮮明でよめないのが残念(プロジェクターの字も含め)
- お人柄が伝わり検疫所の歴史などもわかりやすかったです
- 埋立て前の地形が理解できた、これを踏まえて散策をしてみたい
- 実務にたずさわった人ならではの、こまかい話がていねいになされていました
- 受講したいおかげで自分の住む街々を深く知る事が出来た。ガイド資料として知識を得る事ができました
- 現代の話で分り易かった
- 並木に現在住み、みなとみらいのドックや三菱金沢工場に勤務していた当方にとって大変興味深い内容であった。地域の成り立ちについて今後も学んでいきたいと思った
- 埋立の壮大な計画から実施になる経緯を講師の体験を交えながらの話は大変興味深かった。レジメの図版が詳しく参考となった
- 金沢区に関する色々な事が再認識できた。話術が構えるでもなく淡々となめらかに聞き易かった
- 貴重な資料と実務者として金沢区の埋立にかかわり、その思いが話の中で強く感じとることがわかった、映像が少々見えにくかったが内容は良いと思います
- 講師の説明がわからない、レジメの写真のみでは？ シドスギル
- 最近、種々の講演会で本件と同じような演目で聞いているので新鮮味が無かった。しかし話は解り易かった
- 地元の歴史を生の声で聞けて良かった。スライドが見えなかったのは残念だったが、冊子を購入させていただいた
- もっと埋立に関することがお話ししてほしい、おもしろいね、自分も役人であった

3. 田中常義講師にご講演いただきたいテーマがありましたらご記入ください

- 今回のパートⅡを！
- 話の中でこの件については別の機会にということが多々あった。その辺を再度講演して欲しい。年も大分とられているようなので、できるだけ早く実現して欲しい
- 語りきれない残りの部分があるとの事、それらを更に話す機会があれば良いのではないのでしょうか
- 今回の話を掘下げてシリーズ化したらいかがでしょう
- 大変有意義な仕事をされていると感銘した。どんなテーマでも良いですから、また講演をお願いしたいです
- 埋立工事の詳細、当初計画立案から実行への落とし込みの実態
- 富岡、能見台、釜利谷など「内地」の開発について

- ・金沢地先の埋立事業に携った中で成功した事例が失敗(今後の課題を含め)の具体的事例を現在を踏まえ聴講を希望します
- ・旧長浜検疫所について特化して話をききたい
- ・検疫所一合停留所の調査で明らかになった、関東大震災の状況、引揚者受入の状況を更に詳しくお聞きしたい
- ・放送大学で市大の先生のできあがった住宅地のすばらしさがけん伝されていましたが、ぜひコラボで
- ・長浜千軒伝説
- ・もう結構です

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
16名	9名	2名	0名

※チェック無し：7名

- ・金沢関連を主体にさせていただいたので初めて聞く会員には良かったと思う
- ・受付、時間配分等、司会もよかったですね
- ・わの会の運営がスマートで手際が良いに敬服しました
- ・受付がスムーズだったので、よかったです
- ・資料色々ありがとう、応仁の乱は再読、Studyしたい
- ・心配した積雪に見舞われず、予定通り行われて良かったと思います
- ・地区センター入口や部屋の案内を掲示頂けるとわかりやすいと思いました
- ・日々御苦労様です、今後も宜しくお願い致します
- ・いつもありがとうございます

5. “わ”の会について

- ・聴講させていただき、ありがとうございました。
- ・5月の総会の今年度の議事報告で事典については話が出るでしょう。それはそれとして会報へも事典のこの1年間の社会貢献(学校への無料配布)、販売ルート、収支状況等について掲載すべきと存ずる。事典は“わ”の会の大きな事業であり、財産である。会報に掲載することで後世への記録として残したい
- ・いつも運営ありがとうございます
- ・毎回、御苦労様です
- ・運営委員の御努力に感謝致します。今後ともお手伝いさせていただきます
- ・講師を探りあてる、探知、アンテナに敬服します

〈質問〉

1. 文化財登録は横濱か横浜か ⇒やや混在している感じ
2. 埋立のグランドデザインインはどこからか、ふすまの取手を決めてから家のデザインへ入ると良く聞く、外国のアプローチとはやや違うのでは ⇒開発全体の計画を担当部署が企画して進めて来た

わっ！おもしろい金沢（1）：金沢猫には尻尾がない

“わ”の会 運営委員 工藤 君明

“わ”の会に参加して一年になります。定期学習会に出席して金沢地区の歴史を学びながら、「懐かしの映画を観る会」で映画を楽しんできました。若いころは仕事だけでしたので、地域とかかわりはほぼありませんでしたが、定年退職後は金沢の魅力を楽しむ街歩きに参加して、少しずつ理解を深めてきました。“わ”の会のことはずっとまえから知ってはありましたが、郷土史のことをそれほど深く勉強したいとも思っておりませんでした。どちらかということ、個人旅行で国内や世界の観光を楽しんでまいりました。近頃は、金沢地区の歴史にもいろいろおもしろいものがあることに気づき、地域の方たちとの交流を大事にしたいと思うようになり、“わ”の会に参加してみることにしました。みなさんが分科会に所属して活動されているようなので、とりあえず「懐かしの映画を観る会」に所属しました。

映画が大好きというわけでもありませんでしたが、世界のあちこちを観光旅行したときには、その場所がロケ地になっているような映画のDVDなどを借りてきては、思い出を新たにしながら楽しんできました。「映画の会」では、いろんな映画が上映されます。以前に観たことのある映画はあらすじがわかっているので、作品の出来栄とか、役者の演技とかを楽しめますし、初めて観る映画も出遭えてよかったと思うことがあります。

映画「砂の器」

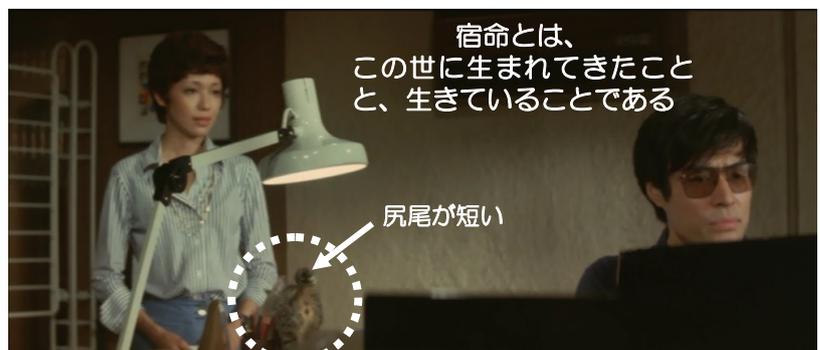
一つひとつの映画にいろいろ思い出がありますけれども、先日上映された松本清張原作・野村芳太郎監督作品の「砂の器」（1974）を観ていたとき、ある場面に釘づけとなってしまいました。思い返せばこの作品は、私が結婚したころの作品であり、結婚式場から上映会に招待されて初めて観ました。野村監督の舞台挨拶

があったことを記憶しております。その後、テレビやDVDで何度も観てきましたが、いつも涙が出てきてしまう不思議な映画です。

ところで、「映画の会」で観ていたときに気づいたことは、映画の筋とはなんの関係もなく、ほとんどだれにも気づかれないような一瞬のシーンです。主人公のピアニスト「和賀英良」（加藤剛）が婚約者の「佐知子」（山口果林）と「宿命」とはなにかを語り合う場面です。その会話のときに、佐知子は猫を抱いています。その猫を和賀が受けとって抱き、それからデスクに置くと、猫が佐知子のところへ歩いていき、そのときに後ろ姿がちらりと見えます。ところがなんと、長い尻尾がないのです。「あ!? 金沢猫」と思いました。

金沢猫

“わ”の会発行の「かねざわの歴史事典」の記述では、「金沢猫」は鎌倉時代に中国から唐船に乗せられてきた唐猫が金沢の地に住みつき繁殖した子孫であり、その特徴は分かっていない、とされています。また、「金沢の民話」（文：氏家總子、発行：金沢区役所、平成18年3月31日）によると、「唐猫」は三毛猫で、尻尾が和猫より長かったそうですが、その唐猫が和猫と仲良くなってたくさん子猫が生まれ、それが尻尾の短い三毛猫だったので「金沢猫」と呼ばれてかわいから



映画「砂の器」（1974）
和賀（加藤剛）と佐知子（山口果林）が「宿命」について語り合うシーン、後ろ姿の猫に長い尻尾がない!?

れた、とされています。

資料がなくて、金沢猫に尻尾がなかったのかどうか確かなことはわかりませんが、金沢のあたりを歩いていると、ときどき尻尾の短い猫に出あいます。ずっと不思議でした。尻尾がほとんどないもの（短尾猫）、中途半端な長さで曲がっているもの（尾曲がり猫）などを見かけます。奇形なものかな、とずっと思っておりましたが、「金沢の民話」を読んで、これが「金沢猫」の子孫なのかと思ひあたり、その後も注意して観察してきました。ついに見つけました。野島公園にはたくさんの野良猫が棲みついでおり、だいたいは長い尻尾なのですが、三匹だけ短尾猫を見つけました。その三匹はいっしょにいることが多いので、きっと同じような短尾になる遺伝子をもっている親子かきょうだいなのでしょう。



野島に棲みついでいる短尾猫の一匹
(2018年9月8日、筆者撮影)

浮世絵

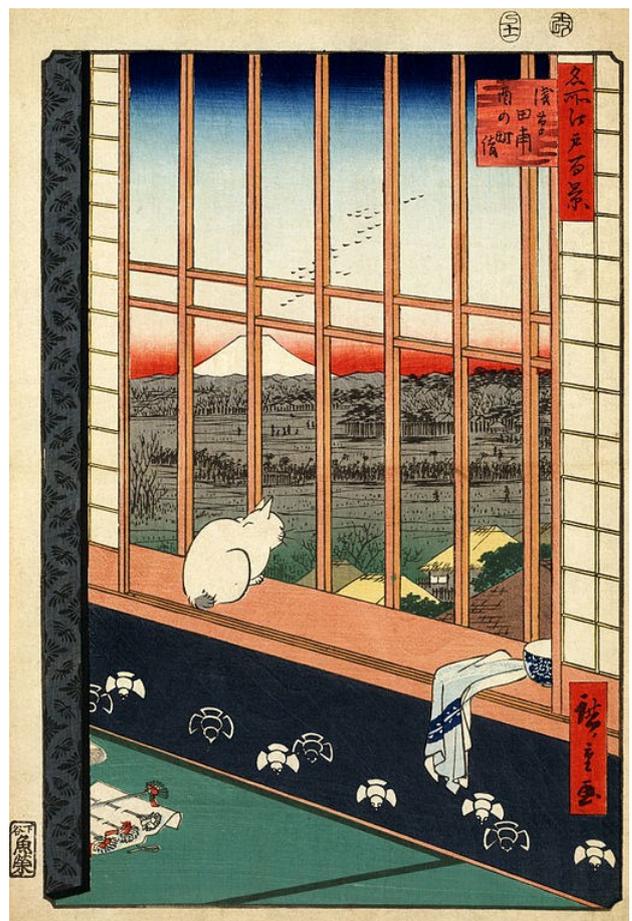
世界に猫はもちろん、猫好きがたくさんおります。岩合光昭の「世界ネコ歩き」に出てくる猫はどれも立派な尻尾をもっており、尻尾のない猫は見あたりません。まるで、「吾輩は虎の子孫である、尻尾がないやつは猫ではない!」、みたいな扱いです。ところが日本では、どういうわけか、尻尾のない猫がむかしから、かわいがられてきました。江戸時代に描かれた浮世絵に出てくる猫にはたいてい尻尾がないのです。

歌川広重（1797～1858）は江戸時代後期の

浮世絵師であり、「東海道五十三次」に代表される道中絵図など数多くの作品を残しております。天保7（1836）年ごろに、8枚2連作の「金沢八景」を描いており、金沢にはなじみの深い作品です。

歌川広重最晩年の連作「名所江戸百景」は、大胆奇抜な構図で、四季の折々に見せる江戸の素顔を描き出しており、世界的にも知られております。「浅草田甫西の町詣（あさくさたんほとりのまちもうで）」（冬の部 102 番、1857～1858 ころ）に、吉原の妓楼の窓台から夕暮れの富士山を眺めている短尾猫が描かれています。猫の目線の先には、西の市で買い求めた熊手を持ってあぜ道を帰っていく人々があります。また襖のそばには、遊女の簪がさりげなく置かれており、短尾猫が遊女のペットとしてかわいがられていることを暗示しています。

江戸末期にはほかにも猫を描いた浮世絵師がたくさんおります。歌川国芳（1798～1861）



歌川広重「名所江戸百景 浅草田甫西の町詣」
短尾猫が吉原妓楼から外を眺めている

は部類の猫好きとして知られ、たくさんの猫を飼い、猫を擬人化した作品をたくさん残しております。もちろんほとんどが短尾猫です。

江戸時代中・後期の浮世絵師、喜多川歌麿（1753～1806）は狂歌絵本や錦絵の美人風俗画で世界的に有名です。歌麿が三部作として描いたものに「雪月花」があります。三部作のうち、「吉原の花」と「品川の月」はアメリカの美術館に所蔵されておりますが、「深川の雪」は箱根にある岡田美術館が所蔵しております。昭和23年に東京で開催された博覧会に出品されて以降、行方がわからなくなっておりましたが、60余年ぶりに発見されて話題となりました。縦2m、横3m50cmほどの大きさの肉筆画で、浮世絵史上最大級の掛け軸です。深川の料亭で、27人の遊女や芸者が火鉢を囲んだり遊びに興じたりする姿が描かれています。びっくりしたことに、この絵の左下隅で、猫が遊女の着物の裾にじゃれているのですが、その猫に尻尾がありません。

ともかく浮世絵の世界では、美人は尻尾のない猫をかわいがっている、というのが定番みたいですね。映画「砂の器」を撮影するときに監督は、尻尾が長くてりっぱな猫ではなく、とびきり短い猫を佐知子に抱かせたのでしょう。「砂の器」の原作は謎解きの推理小説ですから読んでいても涙は出てきません。ところが映画では涙が出てきてしまいます。後半の1時間に、三つの部分、①謎解きの捜査会議、②らい病を患っている父親とその子の道行き、そして③その子が天才ピアニストとなりオーケストラで「宿命」をピアノ演奏する、という三つの場面が交互に進行していきます。まるで、江戸時代の人形浄瑠璃（中央に人形遣い、両側に太夫の語りと三味線がいる）を連想させるような演出です。佐知子の抱いていた猫は監督が浮世絵にもまた造詣が深いことを垣間見せてくれたシーンでした。

「猫又」伝説

大昔、日本に猫はいなかったらしいのですが、仏教の伝来とともに、経典をネズミから守るために入ってきたらしい。仏教は、インドからチベット経由の北回りと、スリランカ経由の南周りで広

がっていきました。日本へは北回りの大乘仏教が伝わってきましたから、おそらく猫は中国方面からやってきたのでしょう。

平安時代から鎌倉時代の絵巻に登場する猫はどれも尻尾がまっすぐでした。ところが江戸時代になると、浮世絵に出てくる猫の尻尾がいきなり短くなってしまったのはどうしてか、という疑問があります。これには「猫又伝説」が江戸時代に生まれたことと関係しているらしいのです。

「猫又」は、長い尻尾が二つになった、もともと中国で生まれた妖怪です。中国では、西洋的な「神」という考えはなく、人は武力をもって神（皇帝）となり、修行をして神（仙人）になると考えられていました。動物だって長く生きてると妖怪になりました。何万年も生きた狐は9本の尾をもつ「九尾の狐」に化生したし、山猫は「仙狸」となって美男美女に化け、人の精気を吸うと恐れられていました。これが日本に伝わり「猫又」となったのです。鎌倉時代末期の「徒然草」（1331年ごろ）には、「奥山に、猫またといふものありて、人を食ふると人の言ひけるに……」と記されています。

江戸時代になると、山猫ばかりでなく、家猫も猫又になるとされ、尻尾が長くてまっすぐな猫は年老いると妖怪に化けると恐れられるようになりました。ということで、それなら尻尾が短ければ猫又にはならないと、短尾猫ブームとなり、浮世絵に登場するようになったのです。

尾曲がり猫

尻尾がすらりと長くはなくて、先っぽがカギ形に曲がっていたり、中途半端に短かったりする猫は、実は全国にそれなりの割合でいるらしいのです。「日本人のルーツ」（竹内久美子 1990）によると、尾曲がり猫は日本平均で41.7%であり、ほぼ半数の猫は尾が曲がったり短かったりしています。割合が高い都道府県では、東京52.0%、大阪49.1%、福井61.0%、九州は全般的に高く、なかでも長崎は79.0%となっております。長崎では尻尾がまっすぐ長い猫を探すのが大変らしいのです。東南アジアでは、マラッカ海峡周辺に

多く生息しており、スマトラ 86.4%、インドネシア 59.4%などです。

日本では元々、長尾系の猫だったらしいのですが、江戸時代の鎖国によって、外国との交流は長崎の出島に制限され、南蛮経由のオランダ船の積荷とともに、東南アジアから尾曲がり猫が入ってきたらしいのです。

尾曲がり猫が長崎に多いのは本当か、ということを知る市民団体「日本“長崎ねこ”学会」が2009年に長崎市で発足して、実地調査をしたことがあります（「尾曲がり猫」ルーツを探る学会発足、読売新聞2009年4月11日）。この学会のキャッチコピーは、「尻尾の先がかぎのような猫は幸運のシンボル」です。確かに、東南アジアの尾曲がり猫は江戸時代に長崎から九州全域に広がっていったのでしょうか。

しかし、六世紀半ばに猫が仏教とともに入って



尾曲がり猫（日本“長崎ねこ”学会）

尻尾の先がかぎのように曲がっており、これで幸せをひっかけてくると信じられている

きて、長い年月をかけて全国に広がっていったことは理解できますけれども、尾曲がり猫が江戸時代の鎖国から初めて全国に広がっていったと主張するのは無理があります。全国の尾曲がり猫の比率がほぼ半分弱で安定していることも、長い年月がかかっていることを暗示しております。金沢猫は鎌倉時代からの伝承であり、やはり相当古くから尾曲がり猫の遺伝子は日本に流入していたと考えるべきでしょう。平安末期の平清盛や鎌倉幕府が中国と交易していた南宋時代の「蜀葵遊猫図（しょっきゅうびょうず）」（大和文華館所蔵）に描かれている三匹の猫はいずれも短尾です。というこ

とは、中国でもすでに短尾猫をかわいがるようになっていたこととなります。金沢猫のルーツは、やはり短尾の遺伝子をもった唐猫であったとしてもおかしくはないようです。

動物の尻尾

猫の尻尾を短くする遺伝子は劣勢という説が流布しておりますけれども、根拠があるのかよくわかりません。劣勢遺伝子だとすると、短尾と長尾の親からは、短尾猫が25%、長尾猫が75%生まれてくることとなります。長尾同士の子からは、短尾猫はめったに生まれません。しかし尾曲がり猫の分布を考えると、短尾猫と長尾猫のどちらが「猫的」に魅力があるかという問題があります。また自然の繁殖だけではなく、江戸時代のように短尾猫への嗜好が大きくなれば、家猫は短尾が主流となるでしょう。野良猫の世界でも、長尾と短尾の優劣は、どちらが魅力的かによって異なるのでしょうか。

ミュージカル映画「キャッツ」に登場する猫はすべて長尾です。西欧文化が、長尾猫を魅力的と考えているから長尾猫だけになったのか、西欧の猫自身が長尾猫を「魅力的」と感じて、短尾猫を敬遠しているのかどうか、わかりません。ただ、オリジナルの「キャッツ」が長尾猫だけだとしても、日本版の「キャッツ」では短尾猫も登場させるべきではないだろうか、日本の演出家は不勉強なのではないか、少しは野村監督の「砂の器」を見習うべきだろう、と私は思っております。

脊椎動物にとって尻尾とはなんでしょう。尻尾は脊椎の、頭とは反対側にある部分です。尻尾がどのような役に立つのかは動物によってさまざまです。

動物は植物と違い、生きていくためのエネルギーを外部から得なければならず、餌を口から摂取します。進化の過程で、動物の口の周りには、般若心経がいうところの六つの感覚器官「眼耳鼻舌身意」（眼：獲物を見つける、耳：獲物の動きを知る、鼻：匂いを嗅ぐ、舌：味を見分ける、身：獲物に触って確かめる、意＝脳：五つの感覚情報をまとめて食べてもいい獲物かどうかを判断す

る)が集まっています。そして動物が海中で生活していたときに、尻尾は獲物に接近する、あるいは敵から逃げるための推進器官として機能しました。動物が地上で生活するようになると、手や脚が進化して、移動のための尻尾は不要になってしまいました。そこで動物は尻尾をどうしたか。ほかの目的に使うか、邪魔だからなくしてしまうか。それは動物によってさまざまです。馬や牛は、うるさいハエや蚊を追い払うために使っています。カエルなんかは、オタマジャクシから成体に変態するとき、まるごと棄ててしまいます。カバは、りっぱな尻尾はあるのですが、水中で生活して不要になったのか、大きなお尻のなかに埋もれてしまい、先っぽだけが見えています。木の上で生活する猿などは、枝をつかむため、五番目の手足にしています。岩山などで座って生活するニホンザルなんかは尻尾が退化しています。人もこの延長上にあり、尻尾は退化して、尾髂骨として痕跡しか残っていません。

コアラはユーカリの樹の上にありますけれども、枝でじっと座っていますから、退化してしまいました。余談になりますが、先日散歩しているときに、母親が子どもに話しているのが聞こえてきました。「尻尾のあるのがパンダ、尻尾のないのがコアラだからね」と教えていました。なるほどと思って金沢図書館に行ったら、図書館のマスコットキャラクターであるコアラの「リードくん」には、なんと尻尾がついているのです。職員が作ったフィギュアにも小さくて丸い尻尾がついていました。尻尾のあるコアラはかわいいです。



金沢図書館のマスコット「リードくん」と、職員が作ったコアラのフィギュア、ないはずのかわいい尻尾がついている

猫の祖先である虎は、長い尻尾を高速で走りま

わるときのバランスに使っているみたいです。猫は虎の子孫ですから、長い尻尾がかっこいいと思っているのでしょうか。尻尾は跳んだり着地したり走ったりするときに体のバランスをとるときに役立ち、それが野性の証しであるならば、猫同士にとっては尻尾の長い猫が魅力的なのでしょう。

動物は雌雄の両親が遺伝子を混合させて、新しい遺伝子をもつ子孫を作ります。このとき、それぞれの親の形質を、良かれ悪しかれ受け継ぎ、また遺伝子の突然変異で新たな形質が作られます。突然変異によって、両親より優れた形質ができることもあります。たいていは悪くなります。悪い形質をもった子孫は、自然界の淘汰によって消滅していきます。生存環境に適合した子孫が生き延びて、さらに子孫を営々と遺していきます。このときに重要なのは、形質の変異は内的なものであり、種内における競争力と環境からの淘汰圧力によって選別されます。

尻尾を長くする遺伝子が突然変異によって奇形を生じさせる遺伝子が発生します。遺伝子に変異が生じて形質に変化がない場合があり、また劣勢の遺伝子ですと表に出てこないの、遺伝子の変異は隠れて子孫に受け継がれ、蓄積されていきます。それならば、どうして尾曲がり猫の比率がほぼ半分なのでしょう。

猫が尻尾の長さを気にしないでカップルとなって子を作っていくと仮定して、メンデルの法則みたいに計算しますと、尾曲がり遺伝子が劣勢ならば、尾曲がり猫の比率は 25%、優性ならば 75%で安定します。尾曲がり猫の比率は半分近くにはなりません。ということは、尾曲がり遺伝子が劣性ならば、尾曲がり猫は猫自身にとっても魅力がなければならず、また優性遺伝子であるならば、尾曲がり猫は猫界で差別され忌避されていることになります。

これから推測すると、尾曲がり遺伝子は優性なのではないか、そして猫自身はすらりと長い尻尾の猫の方がワイルドで魅力的だと感じているのではないかと私は思っております。実は、「猫の日本史」(桐野作人編著、2017)では、優性遺伝子であるとされております。ただし、この議論はま

だかなりの検討が必要です。

ジャパニーズ・ボブテイル

しかしペットの猫にはもはや長い尻尾が必要とされなくなり、尻尾がほとんどない猫が作出され、そしてついにはアメリカでブームとなり、ジャパニーズ・ボブテイルと呼ばれております。1960年代に日本猫に魅了されたアメリカ人女性が本国に持ち帰り、繁殖に着手して、1976年には品種として認定されました。「砂の器」は、まさにこの短尾猫ブームのときに作られたのでした。



ジャパニーズ・ボブテイル：日本の短尾猫を原種とするが、人為的に作出された短尾の三毛猫であり、日本猫そのものではないとされる (Wikipedia)

「ドラえもん」と「キティちゃん」は日本生まれの大人気キャラクターです。ドラえもんは1969年に誕生した猫型ロボットという設定です。耳がないのはネズミに食べられたからということですが、赤くて短い尻尾がちょこんとついています。サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」はかわいい子猫だと思っているかもしれませんが、1974年生まれの明るくて優しい女の子という設定です。サンリオによると、2足歩行して洋服を着ており、鳴き声やしぐさに猫の要素は入っていないということです。

いずれにしろ日本人は、動物に丸くて短い尻尾がちょこんとついているのがかわいいと感じるようなのですが、ひょっとしてその原点に金沢猫がいたのではないかと考えると楽しくなります。



HELLO KITTY

ハローキティは猫をモチーフにして擬人化した女の子 (サンリオ)

研究会の呼びかけ

今回は「金沢猫」についてまとめましたが、このシリーズでは、金沢にあるおもしろい話を掘り起こして検討していく予定です。郷土史を愛好されておられる方々が苦労して調査されたことがらをベースに、疑問な点や足りないところは想像によって補いながらまとめていくつもりです。ご期待ください。

金沢のおもしろい話題について興味のある方々と、研究会を行えないものかと考えております。ご連絡いただければ幸いです。成果を発表する会を適宜開催して、“わ”の会の内外にも呼びかけ、“話”の“輪”が広がっていくことを期待しておりますので、よろしく願い申し上げます。

連絡先：

工藤君明

Eメール：kimiakikudo@gmail.com

携帯：080-5017-5909

シルクロード旅の思い出 他

古文書を読む会 代表 真田 雅行

18年前の2001年銀行同期の高橋達夫君からの誘いでシルクロードの旅が実現した。かねてからここが仏教と絹の伝播交流ルートであり、日本に及ぼした影響に興味があった。その後2007年までの間に5回、各回10日前後

中国の旅をした。目的はシルクロードであったが、その間アフガニスタンなど中央アジアと中近東の紛争・戦乱のため、うち2回は四川省と東北地方(旧満州)にコースを変更した。この旅のグループを天山会という。

1. 敦煌と河西回廊(黄河の西側の意味)の旅(2001/7/3~12)

ルート:敦煌周辺(莫高窟、玉門関、鳴沙山ほか)→嘉峪関→魏晋地下墓群→酒泉→張掖→武威→蘭州→西安(昔の長安)

北はゴビ砂漠、南は祁連(きれん)山脈に挟まれた回廊は砂(土)漠とオアシス、古代から続く漢民族と異民族の攻防の地、一方で東西の文化交流の地、2千年以上の歴史が凝縮された地域であるが、万年雪をかぶった祁連山脈から雪解け水が地下水となって各地にオアシスを形成し、

そこだけが緑地帯となりそれ以外はゴビ砂漠などの土漠である。

主要な街の間隔は200~300kmもあり電柱や時々見える燧台(のろしだい)などの廃墟以外何も無い道をバスで突っ走る。

(1) 敦煌周辺

年間降雨量39ミリ、蒸発量2800ミリ、気温20度C、冬は零下20度Cという。

①玉門関

敦煌の西80km、前漢時代の約40m四方の関所跡で西域への窓口であった。紀元前は北方遊牧民族匈奴の世界で、前漢の武帝が北方へ追いつき漢の西の果ての関所とした。

②莫高窟(ばっこうくつ)

敦煌市の東南25km、シルクロード最大の石窟寺院、インドや西域から大量の仏教経典がもたらされ、何代もの王朝にわたって造営され続け、現在**492石窟**に大量の仏像や壁画が残る。見物者には10窟前後のみガイド付き拝観許可。敦煌が11世紀前半に西夏に支配された際に何者かが莫高窟の洞窟内に多数の経典を隠し、入口を塞いだため9世紀もの間誰にも知られずに保存され、清王朝末期に一道士に発見され、20世

紀に英仏の探検家の手に渡り世界が驚嘆した。長い年月の経過で仏像、壁画ともに色あせたが、それよりも約2千年もの間よく無傷で残ったものだとの印象が強い。

撮影禁止で石窟内部の詳細はNHKの特集番組「シルクロード」などによるほかないが、以下特に興味のあるもののみを挙げる。

○初期(西暦421~581)

主に北方民族に支配された時代で**北涼**(275窟)、北魏や**北周時代の壁画・捨身飼虎図**(428窟)で知られる。日本で法隆寺の玉虫厨子に描かれている。

○中期(西暦581~807)

初唐の菩薩壁画(57窟)、**盛唐時代の三曲法の菩薩**(45窟)、29mもの大仏(130窟)、天女が四弦琵琶を背中に廻して弾く高度な演奏技術の壁画**反弹琵琶**(112窟)が著名。日

本では東大寺正倉院に螺鈿紫檀五弦琵琶が現存しており西域經由伝来したといわれる。

○後期（西暦907～1368）

五代十国一宋、西夏、元時代

③ 鳴沙山、月牙泉

敦煌の南5km、ここは土漠ではなく全山が砂山の砂漠で東西40km、南北20km。海拔は1650mだがここでの高さは50～60m。ぬかみにはまる感じで山頂まで登頂した。

月牙泉はこの麓に湧く三日月形の小さな泉で東西224m、南北の最も幅の広い所で39m、深さ約2mであるが、古来より砂丘の流砂にも埋もれたことがない静かな湖。

④ 西千仏洞窟、榆林窟（ゆりんくつ）と白馬塔いずれも莫高窟と並ぶ敦煌付近の三大石窟。白馬塔は玄奘三蔵と同様インドから大量の仏典をもたらした鳩摩羅什（くまらじゅう）が愛馬の死を悼み跡に塔を建立したものの。

（2）嘉峪関（かよくかん）

酒泉の西20km、明時代の万里の長城の西端にそびえる天下の雄関で我々は城壁を歩いた。万里長城は北方遊牧民族の侵入に対する防壁として紀元前の春秋戦国時代に建設が始まり以後

明の時代まで続き、1372年前後に完成。河北省山海関から八達嶺を越え黄土高原地帯を経て嘉峪関まで延長6350kmに及ぶ。

（3）魏晋壁画墓群

「ゴビの地下画廊」といわれ、嘉峪関と酒泉の中間ゴビにある3～4世紀の魏晋時代の墓が千基以上あり、発掘20基程度だが、漢代と晋

代の美術史上の空白を埋めるものとされる。この後に続くのが莫高窟。

（4）酒泉→帳掖→武威→蘭州

いずれもオアシスの街で蘭州のみ黄河が市を縦断している。見どころは 帳掖の大仏寺の35mもの釈迦

涅槃像（マルコポーロの東方見聞録に記載あり）、蔵経堂の西夏文字の経典、武威（むい）出土の後漢時代の最高傑作「銅奔馬」。

（5）炳靈寺石窟（へいれいじ）

蘭州の西南120km、黄河をモーターボートで50km遡った山間にあり、黄河上流の人造湖（劉家峡ダム）を通り過ぎると最奥の切り立った崖に掘られた27mの唐代の大摩崖仏が現れ、

その上部に掘られた183窟もの石窟には西秦4～5世紀～清代の多くの仏像や壁画があり、そのうち10石窟を拝観。

（6）西安（昔の長安）

西安はシルクロードの東の起点、日本の遣唐使のルートとシルクロードの接点であり、西域の文明はここ西安に入り、ここから奈良へと伝わる。西安は11王朝千余年にわたる古都であり、中

でも前漢、隋、唐の三王朝時代に最も繁栄したが、今回の旅は河西回廊が中心のため、西安中心部、大雁塔（玄奘三蔵インド・西域より仏教典を持ち込みここで漢訳）、兵馬俑坑などは別の機会に譲り、郊外の下記二陵の見物に留めた。

① 乾陵

西安の西北80km、残酷で悪名高い女帝則天武后の墓。

墓前の長い参道両側に続く石人・石獸が見事。近くには女帝の実の孫で女帝淫乱に言及したとして17才で殺された永泰公王や謀反の疑いで31才で自殺を強いられた実子の章懐太子など悲劇の王族の陪葬墓がある。

② 茂陵

西安の西40km、前漢の五代皇帝の武帝陵

で在位54年の間、国力を伸長し文化を興隆して王朝の盛期を築き、度々匈奴を討って西域との往来を確保、張騫(ちょうけん)を西域に派遣するなどシルクロードの交通に不朽の功績があった。陵の近くに側近の24才で死去した將軍霍去病の墓があり、武帝の命令で祁連山を象徴する山の形で築かれている。彼は6回祁連山に出兵し匈奴を破って河西回廊の交通に大功があった。

*** **

2. 四川省の旅(2002/8/29~9/6)

三国時代の魏・呉・蜀のうち蜀の国、諸葛孔明の国、四川省については山岳地帯であり見るものなく、辛い中華料理程度と思っていたが実際は違っていた。四川省だけで日本より広い上に、作物はほぼ何でも出来るし、稲もよく実り果物も豊富で、中国でも有数の豊かな省ではないかと思う。

見どころは何といっても九寨溝と黄龍の秘境で、バスで空気の薄い山中を登りたどり着くと

無数の湖と滝、そのバラエティーに富んだ風趣とスケールの大きさは日本では見られないもの。

ガイドの「顔」さんが中国で最も勧めていたところだが同感である。百聞一見に如かず。

空気は薄い酸素も売っている。その他四川省の見どころは峨眉山とパンダの故郷であろう。

*** **

3. 中国東北地方の旅(2004/9/4~12)

いわゆる旧満州、明治以降の日本の進路を振り返れる旅でもある。

旧南満州鉄道を走る列車に乗り、瀋陽・長春・ハルピン・チチハルそして中口国境の満州里までの長旅だったが、伊藤博文が暗殺されたハルピン駅頭など主要駅を通過する度に大戦末期にソ連軍から逃れようと必死にこの線路沿いに大連方面に逃げた何百万もの居留民のことを、又子供を地元民に預け、それが現在の残留孤児問

題になっていることを思い出した。ソ連軍が日ソ中立条約を破棄して満州里国境を越えたこの場所へきて何とも言えない感慨にかられた。

帰りはバスでホロンバイル草原を通過したが、出来れば近くのノモンハンを見たかった。1939年関東軍がソ連軍に大敗したところだ。

*** **

4. 中央アジアの旅(2006/7/12~22)

新疆ウルムチ→カザフスタン→キルギス→ウズベキスタン

初めて新疆ウイグル自治区に入った。イスラム教の地域であり、ウルムチの博物館で日本に

も来たミイラ「楼蘭の美女」を拝観。国境で5時間待ってカザフスタンに入る。

キルギスのセリム湖は前5～後8世紀にまたがり政治・文化・人種の交差点であった。
 るつぼの象徴チョルポン・アタ岩絵野博物館
 見物。再度カザフスタンに入り、唐とアラブ軍のタラスの戦いの古戦場を訪れた。アラブの勝

利でイスラム教が中央アジアや新疆へ浸透した。
 ウズベキスタンのタシケントでは青色のモスクやバザールが印象的。シベリア抑留の日本人がここで強制労働させられ没した多数の墓地を見学。

*** 窓 *** 昏 *** 窓 *** 窓 *** 窓 ***

5. タクラマカン砂漠縦断の旅（2007/9/8～16）

ウイグル自治区西端のカシュガル、シルクロードの西域南道、天山南路等タクラマカン砂漠周辺とバスでの砂漠縦断の旅。アフガニスタンやパキスタンとの国境近くまで接近、シルクロ

ードの拠点カシュガル、崑崙山脈や世界第2位の広大なタクラマカン砂漠550kmを縦断したこと等を思い出す。混血の故かウイグル人には美人が多いとの印象であった。



シルクロード図（中国甘粛省～西域～中央アジア）



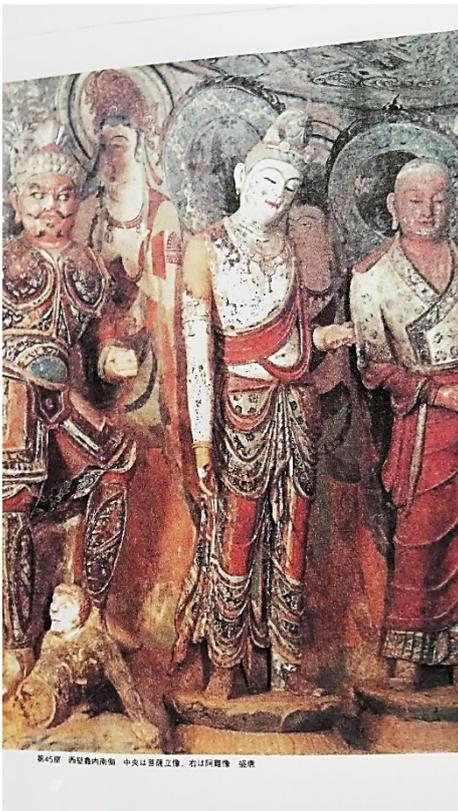
← 弥勒菩薩交脚像（275窟 北涼時代）



捨身飼虎壁画（428窟 北周時代）



菩薩壁画（57窟 唐の初期）



三曲法の菩薩（45窟 盛唐の初期）



反弹琵琶を弾く天女
（112窟 唐時代）

『寺社を巡る会』活動記録 平成30年度第10回～第12回

第10回 「五木寛之・百寺巡礼」DVD鑑賞

開催日：平成31年2月7日（木）

場所：金沢地区センター 2階大会議室

参加人数：男性31名 女性6名（内ビジター0名） 合計37名

DVD鑑賞 五木寛之・百寺巡礼

【本誓寺】

真宗大谷派の寺院で能登地方最大かつ最古といわれるが創建年は不祥。江戸時代は幕府、加賀藩の宗教政策の一端を担った。境内は築地塀で囲われ本堂、山門、鐘楼、鼓楼、庫裡、書院等の伽藍が建ち並び当時の面影を残している。本

堂は寛政年間（1789～1801）に再建立されたものだが、堂々たるもので、豪快な茅葺屋根を保存している。「日本三大茅葺屋根」と言われている。

【妙成寺】

日蓮の孫弟子日像が開祖の日蓮宗の北陸本山で能登随一の大伽藍を持つ。天正年間（1573～1593）、能登国主となった前田利家から寺領の

寄進を受け、利家の側室からも皈依を受けその菩提寺になる等、その後も加賀藩前田家から手厚い庇護を受け隆盛を極めた。

【瑞龍寺】

加賀藩二代目藩主前田利長の菩提を弔うため三代藩主利常によって建立された。利常は利長に深くその恩を感じ七堂伽藍を完備、利長の法名瑞龍院に因み瑞龍寺とした。造営には約20年を要したといわれる。当時の寺域は三万六千坪、周囲に堀をめぐらせ、まさに城郭の観であ

る。山門、仏殿、法堂が一直線に並び、左右に回廊をめぐらし諸堂を対称的に配置する伽藍配置は、茶、味噌等日本文化に影響を与えた中国の径山万寿寺に倣ったもので、江戸初期の禅宗寺院として高く評価されている。

【瑞泉寺】

明徳元年（1390）、5代綽如上人によって開かれた。綽如上人は多数の念仏信者の浄財による建立を希望、天皇は勅願寺として建立することを許可された。越中に帰った綽如上人は直ちに「勸進帳」を作り、加賀・能登等六か国の有縁の人々から浄財を募り建立された。北陸の浄土宗の中心として多くの信者を集め、また越中の一方向一揆の重要拠点ともなった。現在の本堂は

明治18年（1885）再建されたもので木造建築としては日本でも有数の建物であり、井波の大工、彫刻師が完成させた。太子堂は大正7年（1918）井波建築・井波彫刻・井波塗師の優れた技を集め再建された。大門（山門）は天明5年（1785）京都の大工により建て始められたが、京都本願寺の再建工事が始まったため、井波大工がその後を引き継ぎ完成した。

（大門利晴 記）

第11回 梅と密教4ヶ寺

開催日：平成31年3月7日（木）

参加人数：男性26名 女性7名（内ビジター2名） 合計33名

コース：鎌倉駅東口（集合）～宝戒寺～覚園寺～鎌倉宮（昼食のみ）～杉本寺～明王院（解散）

早春の冷たい雨にもかかわらず、今回訪れた六浦路沿いに位置する密教の古刹4ヶ寺には、梅の花が咲き誇り我々を迎えてくれた。鎌倉幕府跡や旧大仏次郎邸を横目に、細い路地を抜けたその先に最初の訪問先である宝戒寺があった。

宝戒寺の境内はそれほど広くはないが、「ハギ寺」として親しまれていることもあり、四季を通して花を楽しませてくれる。この寺は、鎌倉幕府滅亡後、後醍醐天皇が足利尊氏に命じて、北条得宗家の屋敷跡に一族の霊を弔うために建立された。そのためか境内には清楚な白い花が多いといわれている。境内の梅の花を眺めていると、ガイドから梅の花は、雨の日には枝が黒くなり特に冴えて見えると教わった。

次に訪れたのは、この日のハイライトである覚園寺。この寺は谷戸の奥まった所にひっそりと佇んでおり、往時の風情を今に伝える数少ない寺である。ここでは鎌倉ガイド協会の鷺さんが作務衣に着替え案内してくれた。まず愛染堂でこの寺の概要、密教との関わりなどの説明を受け境内へ。当寺の中心をなす堂宇の薬師堂には、薬師三尊像、十二神将像が安置されている。張りのあるたくましい造りの薬師三尊像には圧倒される思いであった。また、梁牌には、この堂を再興した時、足利尊氏が書いたといわれる貴重な文字が残されてお

り、見所の一つとなっている。たっぷり一時間半の探訪で、十分に堪能することができた。

鎌倉宮太平殿で少し遅い昼食をとった後、次の訪問先杉本寺へ。

杉本寺は、坂東三十三観音霊場第一番札所で、鎌倉幕府が開かれる500年近く前の奈良時代に建てられた、鎌倉で最も古い寺である。本尊の十一面観音立像は三体あり、奥の座敷牢のような所に祀られており、その姿が微かに見える程度であった。この三体は、行基、慈覚大師、恵心僧都の作と伝承されている。また堂内には運慶作と伝承される仏像などが何体もあるが、これほど間近に参拝できる寺は他にあまりないと思われる。

最後に訪れた明王院は、小さいけれども美しい茅葺屋根と趣のある佇まいを残す寺院である。また、手入れの行き届いた庭も印象的である。この寺は、鎌倉時代に政所から見て鬼門にあたるこの地に、鬼門除けの祈願寺として、五大明王が祀られたことに始まる。当時はそれぞれに堂があったことから五大堂と呼ばれていたが、江戸時代に火災にあい不動明王以外すべて焼失した。この不動明王は、たくましく雄大な作風を示し運慶様式を正確に受け継いでいるとされている。毎月28日は「お不動様の日」として護摩法要が行われ、五大明王像（再建）が開扉される。（山腰策次郎 記）



覚園寺 愛染堂



杉本寺 本堂

第12回 大船切通しから六国見山へ

開催日：平成31年4月4日（木）

参加人数：男性23名 女性7名（内ビジター1名） 合計30名

コース：大船駅東口モノレール乗り場前(集合) = (バス) = 常楽寺→多聞院→六国見山（昼食）
→ 高野・長窪切通→成福寺→水堰橋→北鎌倉駅（解散）

3年間、鎌倉ガイド協会のガイドで行われた鎌倉探訪、今回が最終回で晴わたった青空の下、最初の探訪先は常楽寺である。山号粟船山の粟船が現在の地名大船になったといわれている。北条泰時が開山である臨済宗建長寺派の古刹、鎌倉の中心から離れているせいか知名度は低いようである。仏殿に祀られている阿弥陀三尊像、狩野雪信の天井画「雲龍」をゆっくり拝観。仏殿の横にある色天無熱池（おたたきの池）、文殊堂を廻り、裏山の急坂を上り姫宮塚・木曾義高の墓を巡り、その奥の生け垣を抜けると、そこはひよどり公園、山門からの退出ではなかった。

多聞院は前身の観蓮寺が兵火に遭い衰えたのをこの地の豪族・甘粕氏が創建したといわれている。本堂に昇殿して本尊の毘沙門天他多くの尊像を拝観した。墓地の崖に作られた櫓群を見て六国見山に向かう。

多聞院を出てまもなくトンネルが現れる。トンネルができたことにより六国見山に行くには便利になったというが、狭い脇道を通り大船切通へ。狭い緩やかな登り坂途中で先ほど見た櫓群の上を通り、六国見山登山道に着いた。登山道は階段の多い坂道、満開の桜を見る口実で休み休み山頂に到着、展望台に立ち四方の眺望を満喫。春の陽

光を浴び周りの景色を見ながらの昼食。昼食後は稚子塚を見た後、殆ど階段の下り坂を桜見ながらの下山、高野・長窪切通に向かう。高野・長窪切通は山を垂直に切り取った見事な切通だが、鎌倉七口と違ってあまり知られていない。

次の成福寺は天台宗のお寺として創建され、後に浄土真宗に改宗した。一時は伊豆に逃れるなど多くの試練を受けた鎌倉唯一の浄土真宗のお寺で、境内を一巡して水堰橋に向かう。

水堰橋は鎌倉八幡宮を起点とした鎌倉道が上の道・中の道の分岐点に架かる橋である。奥州征伐に出立した頼朝の軍勢が勢ぞろいした場所とされ、往時関東の強者が行き来したところである。橋のたもとに如意輪観音を刻んだ道標が建立されている。江戸時代の観音講が建立したものである。

鎌倉に桜が多いのは源実朝が桜を好み植えさせたとのこと、改めて小高い山々に咲く桜を見て古くから日本人に愛されてきた木であることを実感した。今回は晴れ渡った青空の下、桜を初めとする多くの春の花を愛でながらハイキングのような雰囲気もあり、鎌倉探訪シリーズ最終回を飾るに相応しい探訪であった。

（杉山 茂 記）



多聞院 本堂



成福寺 本堂

独自コース67番 「大谷資料館と大谷観音、^{たげさん}多氣山不動」(通算148回)

今回は 宇都宮市西部にある多氣山(376.9m)に登って 中腹にある多氣山不動尊を訪ね、麓にある大谷石の採掘場跡や大谷の景観を楽しみ、大谷寺と平和観音を参拝するコースです。多氣山からは筑波山含む関東平野、北には男体山などの日光連山が見られた。大谷石の里大谷資料館で大谷石の採掘場と歴史を見学した。また、大谷寺では平安時代の石仏(本尊千手観音など)を見学、そして高さ27mの平和観音を眺めながらオレンジ・コヒータイムをとりしました。帰途宇都宮駅前で名物宇都宮餃子を味わいながら反省会を行いました。

実施日：2019年2月21日(木) 天候：快晴

歩行距離など：歩行時間 約4.5時間 歩行距離 約7km 参加者：22名(男性17名 女性5名)

コース所在地：栃木県宇都宮市

交通：往路：横浜駅 6:39 発(上野東京ライン)⇒8:58 着 JR 宇都宮駅 (関東バス) JR 宇都宮駅西口 9:20 発⇒9:50 着資料館入口バス停

復路：大谷観音前バス停 15:18 発 ⇒ 15:50 着 JR 宇都宮駅 (解散)

コースと時間：景観公園で体操後 10:05 出発 ⇒ 多氣山登山口 10:35⇒多氣城址 11:00~11:20 (多氣山頂往復) ⇒ 多氣山不動尊 11:40~11:55 (参拝) ⇒市営駐車場 12:00~12:30 (昼食) ⇒大谷資料館見学 13:00~13:50 ⇒大谷寺 14:00~14:30 ⇒平和観音 14:35~15:00 (ルゾ・J-ヒートム) ⇒大谷観音前バス停 15:05

ご存じでしょうか！ 大谷石とは

大谷石は栃木県宇都宮市大谷地区で、生産される緑色凝灰岩で古くから日常生活に用いられ、火に強いことから煮炊きをする、かまどをはじめ建物の土台石、敷石、土留め、蔵、倉庫などの積み石に使用される一方、火災から守るため、屋根石(石瓦)や、板蔵の貼り石として、外装、内装の建築用材ほか、様々な形で使用されてきましたが、一躍大谷石を全国に広める大きな役割を果たしたのは、なんと といっても大正時代に建造された、旧帝国ホテルです。このホテルは後の関東大震災にも焼け残り、その優美さは設計者フランク・ロイド・ライト氏の傑作と言われました。使用された大谷石とスクラッチ練瓦とテラコッタと大谷石の彫刻の絶妙な組み合わせは、大谷石の特徴である素朴で柔らかく温かみのある質感が遺憾なく発揮され、ブームとなりました。特に昭和初期 教会堂建築などに数多く用いられ宇都宮市内にある国登録有形文化財、設計者マックス・ヒンデル氏の カトリック松が峰教会や設計者 上林敬吉氏の日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会等は大谷石建造物の代表作であります。自然石として大谷石の魅力は柔らかくて 加工しやすく、熱を通しにくく耐火性に優れ、控えめな地色は素朴で温かみさえ感じさせる、独特の風合いを持った石です。

二月尽「大谷の里」を巡りけり 一椀



大谷石地下採石場跡



大谷平和観音

独自コース 68 番「箱根旧街道(東坂)」 (通算 149 回)

—昨年箱根旧街道(西坂)元箱根港～三島を歩きました、今回は箱根旧街道(東坂)元箱根～畑宿～箱根湯本を歩きました。元箱根からスタートし、お玉が池により甘酒茶屋で、甘酒を飲む人、箱根旧街道資料館を見学する人と休憩、次は見晴茶屋から相模湾を眺めました。そして、再び石畳を歩き一里塚のある畑宿(寄木細工は有名)を経て、唯一現存する江戸時代の石畳を歩き須雲川探勝歩道を湯本に向けて歩きました。途中「箱根靈験記」で有名な勝五郎とお初の墓のある鎮雲寺、曾我兄弟を弔う曾我堂のある正眼寺、そして小田原北条五代の墓のある早雲寺に寄りました。

実施日：2019年3月20日(水) 天候：晴れ

歩行距離など：歩行時間 約5時間 歩行距離 約12km 参加者：18名(男性14名 女性4名)

コース所在地：神奈川県箱根町

交通：往路：金沢文庫発 6:09⇒6:17 上大岡 地下鉄 6:21 発⇒6:31 戸塚 6:41 着(大船)6:35 発
⇒7:35 着(小田原) 8:00 発(伊豆箱根バス5番乗り場)⇒元箱根 9:00 着

復路：箱根湯本駅 15:51 発⇒16:07 着(小田原駅) 16:12 発⇒17:15 横浜駅着

コースと時間：元箱根旧街道入り口で体操 9:35 出発⇒10:00 着(箱根の森展望台広場⇒お玉ヶ池)
10:20 発⇒10:40 甘酒茶屋(箱根旧街道資料館見学) 11:00 発⇒11:25 見晴茶屋 11:35 発
⇒畑宿⇒12:20～12:50 昼食⇒13:15 着 須雲川河原(オレンジタイム) 13:30⇒鎮雲寺
⇒正眼寺⇒14:50 早雲寺(コーヒータイム) 15:15⇒箱根湯本 16:30 着 解散

ご存じでしょうか！ 官道の移り変わりとは旧東海道(足柄道→湯坂道→旧東海道)

平安時代の初め延暦21年(802)正月に富士山の大噴火があり、碎石が足柄道を閉鎖しました。朝廷は5月に足柄道を廃し新しい官道として湯坂道を開きましたが、翌22年に足柄道が復旧し、ふたたび官道となりました。従って、平安時代の物語、紀行、和歌などを見ると、ほとんどが足柄道を越えた記録であり、湯坂道を越えたものの記録はきわめて稀です。平安時代はなお足柄道の繁栄期ですが、湯坂道も箱根越えの道として利用され、平安時代末期には旅人の通過が多くなりました。湯坂道が宮道として用いられるようになったのは鎌倉時代からです。この道が芦ノ湖の南側の発展をもたらしました。箱根権現の顕揚も芦之場、湯本を初めとする湯治場の誕生も、この道の出現によって、もたらされたと言えます。

江戸時代になると、江戸幕府は慶長9年(1604)新しい東海道を開設したため、箱根越えの旧観は一変しました。その経路は三島宿から笹原、山中、箱根峠(893メートル)を経て芦ノ湖南岸の箱根宿に道するまでの四里は、大半中世の箱根越えの道の東南側を平行して通り、箱根宿から元箱根付近までの湖岸は中世の道と一致しますが、元箱根付近より東方に別れて権現坂にかかり、二子山の南をめぐり須雲川の渓谷に添いながら、畑宿、須雲川、湯本、台の茶屋などの集落を通過して三枚橋に出て、ここから小田原宿に至ります。これが今言われている旧街道となります。

雪解け月旧き箱根路杉並木 一椀



箱根旧街道(元箱根スタート)



江戸時代の石畳

独自コース 69 番「矢倉岳から足柄峠」(通算 150 回)

矢倉岳は神奈川県西部の足柄山地に位置する山。山頂は広く、北側には立木があるが、西側が草原状に開けており、富士山の展望がよい。足柄平野からは茶碗を伏せたような山容の為、矢倉沢から山頂までは登りが続きました。頂上で、富士山から箱根、丹沢に連なる大パノラマが見られた。富士山は雲がかかり始めました。山頂からは山伏峠まで下りが続き、そのあと万葉公園を楽しみ、足柄峠を経て足柄古道を地蔵堂まで歩きました。途中いろいろな桜が咲いていました。地蔵堂周辺の桜は盛りは過ぎていましたが雰囲気は残っていました。

実施日：2019年4月18日(木) 天候：晴

歩行距離など：歩行時間 約5時間 歩行距離 約9km 参加者：20名(男性16名 女性4名)

コース所在地：神奈川県南足柄市

交通：往路：横浜駅 7:09 発⇒7:43 海老名 7:53⇒新松田 8:32 着

復路：地蔵堂 15:40 発(新松田行き)⇒(関本 16:00)⇒新松田駅 16:17 着

新松田駅 16:27 発⇒16:59 着海老名駅 17:09 発⇒横浜駅 17:42 着

コースと時間：矢倉沢バス停 9:15…(5分)⇒本村(ほんむら)(体操) 9:35 発⇒(40分)⇒水道タンク跡⇒(急登 60分)⇒矢倉岳(870m)(11:40~12:00 昼食)⇒(急下り 15分)⇒山伏平(清水越)⇒(45分)⇒万葉公園内を歩いて(30分)⇒足柄峠(関所跡・聖天堂・コーヒータイム)(13:50~14:20)⇒(50分)⇒地蔵堂バス停(15:20 着)バス 15:40 発

ご存じでしょうか！ 矢倉岳(～世界的にも貴重な深成岩体～)

南足柄市の北側には、約200~100万年前に海底で堆積した足柄層群が広がり、足柄山地を形成しています。約115万年前に足柄層へ貫入したマグマが冷え固まり、その岩体がプレート運動の圧力により標高870mまで隆起しました。更に周囲を覆っていた足柄層が浸食され、深成岩である石英閃緑岩の山、矢倉岳が現れました。矢倉岳は、深成岩体として世界的にも極めて新しく特異なもので、その特徴的な形状が、足柄峠を見張る櫓のようであることから、その名がついたと言われています。なお、地元では「竹の越(たけのこし)」と呼んでいます。その山容から、足柄古道におけるランドマークとしても機能していたと考えられ、現在は手軽なハイキングルートとして、家族連れや遠足などに活用されています。また、登山口の一つである矢倉沢本村地区では、石英閃緑岩を使った石垣がいたるところに見られ、先人の知恵と工夫を見ることができます。なお、9~10月にかけてサシバなどの渡り鳥が観察できるポイントとしても知られ、人の行き来だけでなく、鳥の渡りの要衝でもあります。

晴れわたる足柄の里さくら舞ふ 一椀



矢倉沢(後ろ左奥の山が矢倉岳)

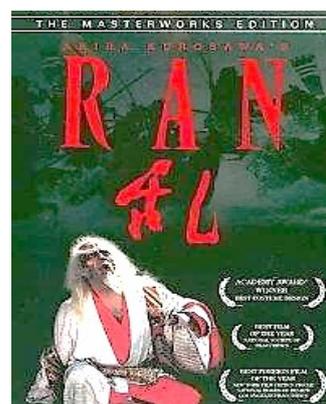


矢倉岳へ急登始まる

平成 30 年度第 19 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 1. 14〉

乱



制作：1985 年 日・仏

上映時間：166 分

監督：黒澤明

脚本：黒澤明、小国英雄

音楽：武満徹

衣装：ワダ・エミ

出演者：仲代達矢（一文字秀虎）、寺尾聰（太郎孝虎）、根津甚八（次郎正虎）
隆大介（三郎直虎）、原田美枝子（楓の方）、狂阿弥（ピーター）

【あらすじ】

戦国時代。強引なやり方で一文字家を強国にした一文字秀虎は齢 70 歳になったのをしおに、三人の息子を前に隠居を宣言し、家督を長男の太郎に譲る。秀虎は弟の次郎、三郎に兄への協力を要求するが、父に反発した三郎は勘当を申し渡される。

秀虎は隠居後、大殿として息子の城を転々としながら余生を送る計画であったが、息子二人はもとより

腹心にも裏切られついに発狂してしまう。

その後、秀虎の身を案じる三郎の重臣丹後の献身で三郎との再会と和解を果たした秀虎であったが、次郎との兄弟間の戦いで死亡した三郎の姿を見て絶望し息を引き取る。

黒澤明が壮大なスケールで再現する「リア王」の世界。黒澤映画の集大成。

【解説】

■KUROSAWA リア王

・晩年の黒澤明が到達した世界 主人公の秀虎は黒澤本人を意識した人物像（旗印の「太陽と月」

は「明」を二つに分解したもの）、黒澤の人生観、人間の愚かさ、無常

■内外の映画賞を受賞

・アカデミー賞（アメリカ） 衣装デザイン賞 ・日本アカデミー最優秀賞、音楽賞、美術賞、録音賞

■見どころ、聴きどころ

・壮大な戦闘シーン、撮り直しのきかない城の炎上シーン、地元の住民も協力した合戦シーン

平成 30 年度第 20 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 1. 28〉

大 脱 走



制作：1963 年 米 上映時間：172 分
原作：ポール・ブリックヒル
監督：ジョン・スタージェス
音楽：エルマー・バーンスタイン
出演者：スティーブ・マックイーン（ヒルツ） ジェームズ・ガーナー（ヘンドリー）
リチャード・アッテンボロー（パートレッド） チャールズ・ブロンソン（ダニー）
ジェームズ・コバーン（セジウィック） デヴィッド・マッカラム（アシュレー・ピット）

【あらすじ】

第 2 次世界大戦中後半のドイツ。「腐った卵は一つのかごに入れろ」との方針のもと、脱出不能といわれた「ドイツ第 3 空軍捕虜収容所」に集められた連合軍の脱走常習者達。250 人も的大量脱走を計画し、NHK のプロジェクト X のような綿密さでトンネルを掘り進める。

いよいよ決行の日。予期せぬ事態が発生し、全員の脱走には至らなかったが脱走に成功した 76 名の運命は……。何度見ても面白い、時間を忘れされる名作。大人から子供まで楽しめる、悲壮感のない戦争映画。

【解 説】

■実話をもとにした脱走劇

- 原作はポール・ブリックヒルが自己の収容所体験をもとに書いた実話
- 実話がなせる迫力、説得力
- 絶望的状况の中でも、めげない、諦めない男達

- しかし、脱走できた 76 名のうち無事目的を達成できたものは 3 名という冷徹な事実も忘れることはできない。

■連合軍の群像劇

- イギリス人、アメリカ人、オーストラリア人それぞれの国民性を反映させた人物設定。魅力的な人物像も多く、鑑賞者各自がファンになる登場人物

- がいいるのでは？
- あふれる男の友情。男の世界。女性が登場しない映画。

■見どころ

- アメリカン・ヒーロー：スティーブ・マックイーン、伝説になったバイクでの逃走シーン 懲りない、諦めない、格好いい。

- 大脱走のマーチ 全編、映像シーンに合わせてアレンジを変えて流れる。

平成 30 年度第 21 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 2. 11〉

愛情物語



制作：1956 年 米 上映時間：124 分

監督：ジョージ・シドニー

撮影：ハリー・ストラドリング

演奏：カーメン・キャバレロ

出演者：タイロン・パワー（エディ・デューチン） キム・ノヴァック（マージョリー）

ヴィクトリア・ショウ（チキータ） ジェームズ・ホイットモア（ルー）

【あらすじ】

1930 年頃のニューヨーク。ピアニストのエディは、ボストンから一旗揚げようと勇んでやって来た。楽団スポンサーのマージョリーのおかげで正式採用されたエディ。互いにないものを持つ二人はいつしか魅かれあい結婚する。ピアニストとして名声を博しバンドリーダーとなるエディ。プライベートでも若く美しい妻を手にして順風満帆の道を歩む。

幸福の絶頂にいたエディを突如襲った悲劇。妻のマージョリーが長男ピーターの出産直後に亡くなったのだ。マージョリーの死を忘れるために仕事に没

頭するエディ。いつしかピーターとの間に溝ができて。やがて戦争が始まりエディも戦場に駆り出される。終戦を迎え、自宅に戻りピーターとの久々の対面。エディ不在中に親代わりとなった英国人女性チキータからピーターのことを聴き、自らを悔い改めるエディ。40 歳を過ぎてエディの身体に変調が。ピーターとの親子関係もチキータの助言で修復され、チキータとの愛が芽生え二人は結婚。人生で二度目の幸福を味合うエディであったが、余命いくばくもないことを知らされ・・・。

【解説】

■ポイント

- エディ・デューチンの波乱に満ちた生涯を描いた音楽伝記映画
- 1909 年（1910 年）生まれ 1951 年 白血病で死亡

- 1930 年代～40 年代にかけて活躍したピアニスト、バンドリーダー
- 映画の中でエディが一番幸せだった時は何時か？

■見どころ

- ピアノ演奏
演奏は主役のタイロン・パワー。
音はエディ・デューチンに私淑していたカーメン・キャバレロによるもの

- テーマ曲
全編に流れるテーマ曲、To Love Again はショパンのノクターン 2 番をアレンジしたもの

平成 30 年度第 22 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 2. 25〉

ニューシネマ・パラダイス

制作：1989 年 伊 上映時間：175 分

監督：ジュゼッペ・トルナトーレ

音楽：エンニオ・モリコーネ

出演者：ジャック・ペラン（サルバトーレ・ディ・ヴィータ 中年期） マルコ・レオナルディ（青年期）、サルバトーレ・カシオ（少年期） フィリップ・ノワレ（アルフレード） プリジット・フォッセー（エレナ 中年期）

【あらすじ】

ローマに住む、高名な映画監督サルバトーレのもとに、ある晩、故郷にいる母親から、一本の電話があった。「アルフレードが亡くなり、明日葬儀がある」という報せだ。

今から 30 年以上前、戦後間もない頃のイタリア南部、シチリア島。戦争の爪痕が色濃く残る時代、人々の唯一の楽しみが町の広場にある映画館パラダイス座で観る映画であった。少年トト（サルバトーレ）は映画館に入り浸り映写技師のアルフレードと親しくなる。ある日、映写中に出火し映画館は焼失、アルフレードはトトの救出により一命はとりとめるものの失明してしまう。

新装なった映画館。映写技師をつとめるのはトト。

青年になったトトは青い目の少女エレナに恋をする。エレナからの愛は得られたが周囲の賛成を得られないまま、トトは兵役に取られる。1 年後、兵役から戻るが、エレナは行方不明。アルフレードはトトにこの土地を離れローマに行き、戻るなど告げる。

アルフレードの言いつけを守り、今回初めて故郷に戻ったトトはエレナに似た若い娘を見かけエレナの居場所を突き止める。エレナと再会したトトがエレナから聞いた驚愕の真実とは？そして、アルフレードがトトに贈ったフィルムの意味は？ イタリア映画らしいコメディタッチで描く、映画ファン必見の感動作。観る回数を重ねる程、素晴らしさに気づく 175 分の完全版。

【解 説】

■三種類のバージョン

- ・オリジナル版（155 分）：イタリアで公開
- ・完全版（175 分）：2002 年に公開
- ・劇場公開版（123 分）：各国で公開

■実の親子以上に強い結びつきのトトとアルフレード、結ばれなかったトトとエレナ

- ・子供を失ったアルフレードと父親を失ったトト
- ・アルフレードの本当の思いを後になって識るトト
- ・失明したアルフレードの手足となるトト
- ・人生の幸せとは？ 社会的名声と身の回りの幸せ
- ・トトに人生を教えるアルフレードとアルフレードの忠告を受け容れ故郷を離れるトト
- （両立を求めるか・片方を選択か） 未練を断ったエレナと断てなかったトト

■受賞

- ・1989 年：カンヌ映画祭審査員特別賞、アカデミー外国語映画賞

■見どころ

- ・人生を考えさせられる名言の数々



平成 30 年度第 23 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 3. 11〉

雪 国



制 作：1957 年

上映時間：133 分

原 作：川端康成

監 督：豊田四郎

脚 本：八住利雄

音 楽：團伊玖磨 撮 影 安本淳

出演者：池部良(島村)、岸恵子(駒子)、八千草薫(葉子)、浪花千栄子(おたつ) 加東大介(宿の主人)、千石規子(女按摩)

【あらすじ】

日中戦争前、雪国の温泉町越後湯沢。日本画家の島村は国境の長いトンネルを越えて、芸者駒子の許を訪ねる。同じ列車には病気の行男と看病する葉子の姿があった。かつて、島村はこの地の温泉宿で駒子と知りあった。

島村は葉子から駒子は幼馴染みの許婚、行男の療養費を稼ぐために芸者になったということを知られる。年に 1 回の逢瀬であったが、それがよけいに

二人の仲を近付けた。あくる年の鳥追い祭の翌日、島村がやって来た時、駒子は養母も行男も失っていた。翌朝、重荷が取れた駒子に、島村は一緒に東京に行こうと誘うが駒子はそれを断った。

暗い世相を背景に、雪国の温泉町を舞台にした、高等遊民の画家と貧しくも美しい芸者の道ならぬ恋。二人の出会いと別れを描いた文芸作品、待望の映画化。

【解 説】

■原作はノーベル賞作家川端康成の代表作

・「国境の長いトンネルを越えると雪国であった・・・」
という書き出しはあまりにも有名

・本作以外にも 1965 年に映画化され話題になった。 監督：大庭秀雄、主演：岩下志麻、木村功

■岸恵子(1932 年、横浜生まれ)

・本作は 25 歳の時の作品。
・代表作：「君の名は」(1953 年~1954 年)、「ここに泉あり」(1955 年)、「おとうと」(1960 年)

・「にんじんくらぶ」：1954 年設立(有馬稲子、久我美子と共に)

■見どころ

・主演女優岸恵子の演技
前々年の「君の名は」で人気者になった岸恵子が演技力で話題に。 あどけなさや妖艶さを同居さ

せた演技。悲しい女の情念を表現。
・モノクロ写真で撮った雪国の映像

平成 30 年度第 24 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 3. 25〉

シンドラーのリスト



制作：1993 年 米 上映時間：192 分
原作：トーマス・キリーニー
監督：スティーヴン・スピルバーグ
音楽：ジョン・ウィリアムズ
出演者：リアム・ニーソン（オスカー・シンドラー） ベン・キングスレー（イザック・シュターン）
レイフ・ファインズ（アーモン・ゲート）

【あらすじ】

第 2 次世界大戦下のポーランドの古都クラクフ。ドイツ人の実業家でナチ党員のオスカー・シンドラーはドイツ軍を相手にユダヤ人を使って一儲けを企む。裕福なユダヤ人から出資を募り破産した工場を買収、ゲットー内の低廉なユダヤ人労働力を使ってほうろう製品を製造し、軍に納めるといふのだ。経営はユダヤ人の計理士シュターンに任せ、自身は軍との折衝、販売に専念するという分担。この仕組みは成功し、シンドラーの工場は大きく成長する。

最初は金儲けのために始めた仕事であったが、ユダヤ人に対する迫害が強化されるに従いシンドラーの気持ちに変化が出てくる。郊外に新設された強制収容所の所長アーモン・ゲートは狂信的な差別主義者でユダヤ人を徹底的に追い詰める。ゲットーから

強制収容所に人が移動したのに伴い工場も収容所に移転する。

いつしか、シンドラーの工場は収容所内で地獄の中の天国と呼ばれるようになる。さらに、戦局の悪化が迫害をエスカレートさせ、工場を閉鎖し収容所内の全員をアウシュヴィッツに送るという命令が下る。シンドラーは十分な金儲けができたことから、故郷に戻ることを決意し、ある取引をゲートに持ち掛ける。

シンドラーが作った「善のリスト、生のリスト」。実話をもとに、自らもユダヤ人であるスピルバーグが描いたホロコーストの世界。感動の 3 時間。

【解説】

■ポイント

- ・ホロコースト映画の代表作 他のホロコースト名作：「戦場のピアニスト」「ライフ・イズ・ビューティフル」「黄色い星の子供達」「愛を読むひと」
- ・1993 年アカデミー最優秀賞受賞 7 部門受賞、作品賞、監督賞、脚本賞、撮影賞、編集賞、美術賞、作曲賞 スピルバーグは念願の監督賞を初

受賞（その後、1998 年に「プライベート・ライアン」で 2 回目の監督賞を受賞）

- ・AFI ベスト 100（2007 年）8 位にランクイン（1 位～7 位まではすべて本作以前の古い作品）

■見どころ

- ・モノクロ シリアスなドラマにはモノクロ画像が似合う
- ・スピルバーグ作品の音楽を担当するジョン・ウィリアムズ スピルバーグの主要作品のほとんどを担当

（ジョーズ、E.T.、インディ・ジョーンズ、ジュラシック・パーク、プライベート・ライアン・・・）アカデミー賞（映画）受賞 5 回、グラミー賞（音楽）受賞 18 回

2019年度第1回 鑑賞会

〈鑑賞日：2019. 4. 8〉

羅 生 門

制 作：1950年 日（大映） 上映時間：88分
原 作：芥川龍之介（「藪の中」「羅生門」）
脚 本：黒澤明、橋本忍
監 督：黒澤明
音 楽：早坂文雄
撮 影：宮川一夫出
出演者：三船敏郎（多襄丸）、森雅之（金沢武弘）、京マチ子（真砂）、志村喬（木こり）



【あらすじ】

平安時代、京の都は相次ぐ戦乱と天変地異で人心は荒れ果てていた。雨が降りしきる羅生門の下で、木こりと旅の僧侶は下人を相手に数日前に見た、ある恐ろしい話を語り始めた。

森に薪を採りに出かけた木こりは男の死体を発見し検非違使に届け出る。同時に、僧侶も馬に乗った美しい女と殺された男の夫婦連れを見かけたと申し出、さらに盗賊の多襄丸を捕らえた男が役

人を前に証言する。しかし、多襄丸、女、巫女の口を借りた男3人の供述は全く食い違っており、客観的立場にあるはずの木こりの話も異なっていた。誰もが自分の都合の良い話をするという、人間の心に潜む邪悪さ。

誰が男を殺したのか？なぜ殺したのか？その真相は？

【解 説】

■ポイント

●制作秘話

- ・公開当初は、評価面・興行面共に不評で制作関係者は左遷されていた。
- ・ヴェネツィア国際映画祭の関係で日本映画の出品作を探していたイタリア人のストラミジョリが本作を観て感激し大映に出品を依頼。
- ・映画祭では見事にグランプリを受賞し、後に「世界のクロサワ」となるきっかけを作った。

- 日本映画を世界に知らしめた作品 日本映画として初めて海外の映画祭でグランプリを受賞（対抗は「巴里のアメリカ人」「欲望という名の電車」）
- デジタルリマスター 古い映画フィルムを最新の電子機器でデジタル化し、傷や汚れを取り色の補正や音質の調整などをする作業。新しいデータから複製したものをデジタルリマスター版という。近年、続々と過去の名作がデジタルリマスター版としてよみがえっている。

■見どころ

- 宮川一夫のカメラ 森の中の木洩れ陽。光と影。人間の心に潜む善と悪を象徴し、物語の内容にマッチ。
- ラストシーン 雨が止み、捨てられた赤ん坊を育てようとする僧侶と子供を預かる決意をする木こり。 信じる心を取り戻すラストが救い。

「浮雲俳句会」

抄録 No.45

代表 北野 清市

126 回例会 平成 31 年 1 月 27 日

〔 秀作 〕

天賞

天象儀はつと目覚むや寒昂 一馬

プラネタリウムを見ながら驚く様がリアルに表現された秀吟。天象儀は、天体の運行を人工的に大型の丸天井に投影した装置のいわゆるプラネタリウムである。このプラネタリウムで夜空に輝いている無数の星を観察中、居心地がよくちょっとの間、居眠りをしていたがすぐに目覚めたというのである。思い当たる驚愕の瞬間であった。そして「寒昂(かんすばる)」を見つけだして感無量の境地を味わっていたのである。

地賞

水仙花茎一本の立ち姿 和女

水仙の花茎の状態を見事にキャッチした秀句。一般的には 12 月から 3 月頃までの長い期間、花茎を 20~30 糎に伸ばし、横向きに数個咲く。花の色は白だが季節的には黄水仙としたいものである。ポイントは「茎一本の立ち姿」に焦点を合わせたところであり、その的確さが格別である。芭蕉に「水仙や白き障子のとも映り」がある。蕪村に「水仙に狐遊ぶや宵月夜」がある。

人賞

寒昂間近に迫る新元号 重九

間近に迫った新元号を寒昂に託して詠んだ佳句。昂は地球から 407 光年先にある青白く輝く六つの星。冬空ではおうし座近くのプレアデス星団にある。上 5 の「寒昂」と下 5 の「新元号」4 月を対峙させ両者をリリースしている。なお、新元号は 4 月 1 日「令和」と閣議決定されている。

特選

老顔に寒紅さして魔女めけり とも女

寒紅は、寒中に製したもので、昔から最上のものとされてきた。特に、寒中の丑の日に寒紅を買うと、子供の病氣(疱瘡・便秘)に効き目があるとされてきた。別称、丑紅とも言うそうだ。口紅は、昔から、女性にとってなくてはならない化粧道具の一つである。私自身高齢で、皺だらけの顔でも、唇に薄く紅

をさすと、多少なりとも顔が明るくなる。寒中である今日、思いきって昔風の色の濃い紅をさしてみた。鏡を覗くと薄気味悪い怖そうな魔女が現れた。

白足袋の見え隠れする老いの艶 十 九

障子明りの冬座敷。きりりと張り詰めた空気のなかで三味の音が流れる。髪に白いもの見える老練の踊り手の、隙のない足の運び。畳の上に描かれる格調高い和服の裾の、全く無駄のない鋭角の線形絵。その裾の僅かな空間に、一步二歩白足袋が滑る。手には、しなやかな扇の舞。宙を走る豊穡の美の影が時の流れを独り占めにする空間。白足袋に支配された時間の中で、手練れの舞手の艶なる世界が広がる。

衣擦れや頬に紅さす冬座敷 二 祥

一月八日の歌舞伎座でのことです。2~3人の寒紅をさした綺麗ところにすれ違った。衣擦れの「カサカサ」と云う音を何年ぶりに聞いた。何とも新年の厳かさや華やかさを感じ作句。「冬座敷」季語あわせ。どうかなあとと思っている。

難題の一件落着大嚏^{くさめ} 勇 平

「くさめ」とは「くしゃみ」のことで冬の季語。漢字で書くと嚏。思い切ってするくしゃみを「大きくさめ」と詠んだ。日常生活において些細なことでも難題をいろいろ抱えている。これらが幸いにも一気に解決すると、そこで「おおくしゃみ!」。溜飲が下がり、ストレスが消える。

初釜や女亭主の加賀友禪 三 洋

初釜は茶道での新年会のようなもので亭主が弟子を客として招き茶会をひらく。客は各自思い思いの自慢の訪問着を装い参会する。亭主は挨拶からはじまり決まりごとにもとづき懐石、濃茶、後茶等を振舞ふ。亭主が装う加賀友禪 が晴れがましい。

127 回例会 平成 31 年 2 月 24 日

〔 秀作 〕

天賞

風ひとつ遺伝子目覚む梅真白 和 女

科学的見地から梅を分析した秀逸。遺伝子は、遺伝の根源をなすもので、親の生殖細胞を通して子に伝えられ、いろんな遺伝子形質を発現させる原因になるものである。その本体は核酸とたんぱく質から成ると考えられ、核内の染色体上に各形質に対応する遺伝子が一定の位置を占めて配列されているという。いずれにせよ、梅の開花に遺伝子をもって来た極めて異例の掲句だが、科学的には全くお説の通りであり、俳句における科学的見地からの分析を絶賛するものである。

地賞

帯解き心解きて春夕月

とも女

句の各節の終り部分を二度以上繰り返すリフレイン効果抜群の秀作。上5で「解（ほど）き」、中7また「解き」と続けている。何かの用事のため着物姿で外出し、帰宅後その大役に思いを致しながら、着物の“帯解き”、役目で張り詰めていた“心解き”したのである。

人賞

企ては月面吟行春の夢

一馬

万人の願望を夢に託した秀句。世は宇宙時代！先般もはやぶさ2が小惑星リュウグウに着地成功して試料採取したニュースが話題となったばかりである。いつも見ているわれわれの住む地球の衛星である月の吟行の誰でもが抱く春の夢である。地球から38万軒、地球の半径四分の一、地球を一か月で一周――いろいろな月に関する要素がうかんでくる。

特選

夕畦田コントラバス弾く牛蛙

三洋

「畦青みそのまま山につながれり 大野林火」春は畔田からやってくる。畦田には、様々な蛙が集まる。今夜の主演は春のオープニングに相応しく牛蛙がコントラバスをかなでる。聴くに耐えないと感じるか、美しい芸術と感じるかは聴き手の感性次第である。

備考：牛蛙は別名食用蛙(外来種)。30年前まで食用として唐揚げ、天ぷら用として市場に出回っていた。

爺ひよいと室見の岸の白魚舟

国眼

九州福岡市の春の風物詩は室見川の白魚漁です。白魚料理のおどり食いとして有名です。「白魚」とはハゼ科の魚で体長5センチ程度。半透明の魚体で、春になると産卵の為、群れをなして川を上ります。そこを「やな」という仕掛けを使って捕ります。今、漁師の爺さまが白魚漁を終えて、舟からひよいと室見の川岸に飛び降りるところです。年季の入った身軽な身のこなしです。笑顔なので大漁のようです。

陽炎へる「平潟」「野島」を跨ぐ橋 勇平

かつて「平潟」「野島」は陸続きだったが、戦時中に開削され野島運河となった。以来、「平潟」と「野島」は橋でお互いに行き来している。当初、橋は木造であった。その上を路線バスがのんびりと通る懐かしい風景は今はない。しかし、橋の上からは微妙な季節の移ろいを感じることが出来る。

老いの身も心も縮む余寒かな

十九

句意はすぐに理解されるところであろうし 自分の実感をそのまま文字に表したものである。しかし 自分では少し迷ったところもあり、未だに結論には至っていないとの思いもある。助詞の問題である。この句の読みは、3・9・5の破調になっている。つまり「老いの」・「身も心も縮む」・「余寒かな」である。迷ったのは「老いの身の」と上5音に拘るべきか、であった。それで、句意が若干違っ

てくる。心までも縮むと言う意味が強調されてくる。(老体は当然のこと) 結局、破調を取って「身も心も」と並列にしたものとなった。その結果句が平板になり 切れがなくなったかも知れない。

あずまやの裏木戸塞ぐ臥竜梅 二 祥

此の所四季ごとに三溪園を訪れている。今年もこの二月、竜の様に地を臥している臥竜梅を見た。壁もなく屋根を四方に葺いただけの茶店(吾妻屋)の裏木戸を塞ぐように今を盛りに咲きほこっている。湯茶の接待を受けながら一時を楽しんだ。梅二月の三溪園の一コマです。

128 回例会 平成 31 年 3 月 24 日

[秀作]

天賞

彼岸入り大日如来に宇宙見ゆ 勇 平

時期的な宇宙俳句の典型ともいえる秀逸。大日如来は、密教の根本教主で宇宙の実相を靈化した仏格。金剛界・胎藏界の二身があり、前者は智を表し、後者は理を示している。そして真理を悟っていた如来には、大宇宙が見られたというのである。いずれにせよ、「彼岸入り」という仏教上重要な時期に大日如来の背後に大宇宙がみられたのである。追って、現在上野の国立博物館で展示中の国宝「両界曼荼羅図」は、種類の多い曼荼羅の中の基本形で大日如来の大きな慈愛を表す胎藏界と堅固な智慧を示す金剛界の二幅から成っている。

地賞

落椿余韻沁み入る磧の石 和 女

落椿のあとに残る余情を石の上に発見した秀句。椿は、高浜虚子がこよなく愛した花で、これを虚子忌に近い日に俳句として詠ったものである。なお虚子の忌日は、椿寿忌ともいわれ鎌倉の寿福寺に娘・立子とともに祀られている。まさに咲き誇っている椿もさることながら、落椿には格別の余情が溢れている。

人賞

頂きを目指す道端山椿 一 柧

山径の椿を見事にキャッチした佳句。椿は早春赤い 5 弁の見事な花を咲かせて、非常に品種が多い。掲句の場合、山地に咲くややこぶりの藪椿であろう。それを見つけたときの心境は、登山の疲れも一気に解消したことであろう。

AIの宇宙探査や春の星

二 祥

宇宙探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」の地表から岩石を採取したとマスコミに大きく報道されたのはこの2月の事でした。地球から約52億Kmと想像を絶する遠く離れた「リュウグウ」の目標地6mのピンポイントに着地し、又状況を逐一ライブ動画で放映記録されました。これこそAI、人口知能の力です。宇宙探査にはAIを駆使した飛行士が科学者等にとって変わりつつあります。高度なAI技術なくして、宇宙開発はあり得ません。AIによる「はやぶさ2」の宇宙探査に驚異と感動を覚え句作に至ったものです。宇宙旅行も春の夢ではなくなりました。

涅槃会や赤子に添寝の釈迦如来

三 洋

涅槃会とは釈迦の滅入日に行う遺徳追慕と報恩の法要である。法要中は、釈迦が沙羅双樹の下で涅槃に入った際の、頭を北にして西を向き右脇を下にした姿で臥し、周囲に弟子を始め諸菩薩、天部や獣畜、虫類などまでが嘆き悲しむさまを描いた涅槃図を掲げる。釈迦の寝顔はあたかも赤子を癒す母の顔で、凡夫をあまねく極楽浄土に導く。

沈丁花つるし細工に香を移し

一 馬

ひな祭りの頃、洲崎の龍華寺では地藏堂で、吊るし雛のアート展が催されます。今春私生憎都合が悪くて伺えなかったのですが、いつも、あの時分は本堂のあたりからでしょうか沈丁花の香りがほんのり漂って来るのです。無数に吊り下げられた雛細工の合間から微かな花の香り。それに加えて出品された女性の芳しい微笑み。春は日ごとにその色を増して来ます。

三桎の蕾金色銀の雨

あきえ

近所の友人三人で金沢自然公園へ向かう住宅地を歩いている時、庭の柵から歩道に大きく枝を伸ばした三桎が目にとまりました。名前の由来の通り三つ又に分かれた枝先に、各々見事な金色の蕾を付けている。黄花中国大輪という種類らしい。そこに降ってきたのは優しい春の雨。以前三人で訪ねた、三桎で有名な大和市の常楽寺の参道が、赤、白、黄色の数多くの花で飾られていた情景も思い出され、幸せなひと時でした。

春潮の満ちてふくらむ谷津の川

重 九

春になると干満の差が激しくなり、大潮の時など平潟湾の海水が膨らみ、谷津川を遡ってその支流まで潮が差してくることがあり驚かされる。引き潮の時は海の公園や野島あたりでは潮干狩りをする人で賑わう。



パソコンを使いこなす会 10周年記念行事

代表 林 洋

パソコン分科会は、2008年3月に発足して、月2回の勉強会を続けてきました。今回遅ればせながら10周年記念行事を実施しました。

1. 記録DVDの作成

分科会で今まで学習した約260項目のテキスト・材料・作品を整理して、歴史年表・記念作品集等とともにDVDに記録しました。

DVDのレーベルは、分科会の演習でフリーソフト「かんたんデザイン工房」を使用して作成し、会員の作品のコンテストで決めました。

DVDをパソコンの光学ドライブに挿入するとまず下のメニューが現れます。



パソコンを使いこなす会
11年の記録
(2008年3月～2019年3月)
はじめに
学習会暦年表
学習項目リスト
記念作品集
会員リスト
このDVDの使い方



各々の項目をクリックするとその内容のページが表示されます。

- 1) はじめに：挨拶
- 2) 学習会暦年表：11年間の学習会のリストを表示
- 3) 学習項目リスト：11年間学習した項目を分類して表示
- 4) 記念作品集：会員が作成した作品の展示リスト
- 5) 会員リスト：11年間の在籍会員のリスト
- 6) このDVDの使い方：マニュアル

すべてのページに検索機能があります。

「Ctrl」キーを押しながら「F」キーを押すと検索窓が開きます。そこにキーワードを入力すると当該キーワードの場所にマークが付きます。その状態

で検索窓の右にある矢印をクリックすると当該箇所に飛びます。

各項目の内容は次の通りです。

① はじめに

パソコンを使いこなす会の設立経緯、目的、歴史と現状を記載しています。

② 学習会暦年表

11年間の学習会の内容を次ページの図のように暦年月日順に並べて表示しています。各年度へは画面トップにある『「2018年度」へ』等をクリックするとその年度のはじめに飛びます。また、その場所の右端欄には前後の年度、ページトップへのリンクが張ってあります。

表中の「テキスト」、「材料」、「作品」、「道具」、「参考」のリンク項目をクリックすると、各々の内容（WORD ファイル、EXCEL ファイル、Pdf ファイル）が表示されます。これらのファイルをパソコンに保存して使用することができます。

③ 学習項目リスト

11年間の学習会の内容を講座の種類で分類し、項目順に並べて表示しています。

種類ごとのテキストは、Office：7件、EXCEL：53件、WORD：88件、

PowerPoint：2件、日本語入力：

1件、Internet：28件、電子メール：5件、Windows：53件、プログラミング：2件、画像処理：17件あります。

このリストからも学習会暦年表と同じようにテキスト等保存ファイルを呼び出すことができます。

④ 記念作品集

会員が2019年3月に作成した記念作品を纏めて表示しました。ここでもファイル名をクリックすると個々の作品を見ることができます。

⑤ 会員リスト

11年間に在籍した会員とその期間を表形式で表示しています。この期間に在籍した会員は60名、年度ごとの会員数は20名から29名と変動しています。

2. パソコン相談会の実施

“わ”の会会員からパソコン操作で困っている事をあげてもらい、その相談に答える事を計画しましたが、応募者3名・キャンセル2名と手ごたえがありませんでした。そこで、分科会会員で教えて欲しいことを募り、お互いに教えあう「相談会」としました。

日時：2019年4月9日（火）9時～12時

場所：金沢公会堂多目的室

（金沢区役所2階）

金沢公会堂多目的室は、自由なレイアウトができる十分な広さのある部屋です。

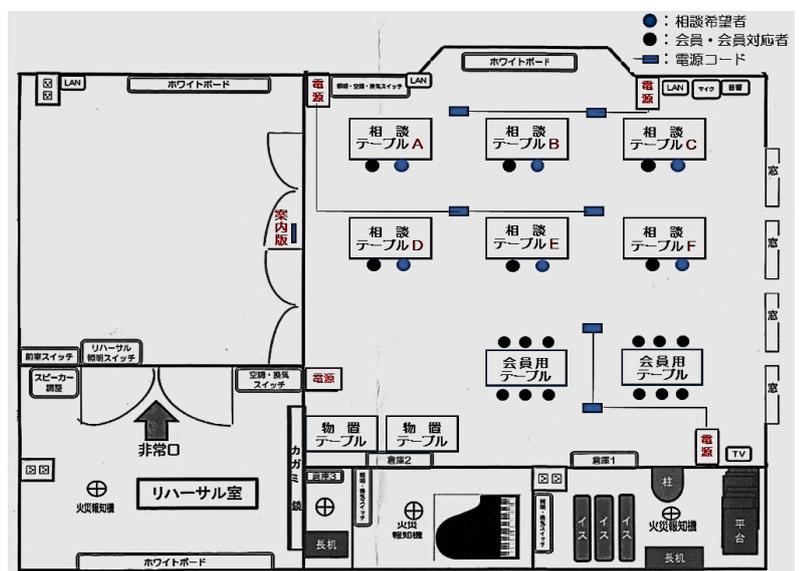
具体的な相談内容は次の通りです。

① デスクトップ画面の整理・ディスプレ

パソコンを使いこなす会 (2008年3月～2018年3月) 学習会暦年表

[「2008年度」へ](#) [「2009年度」へ](#) [「2010年度」へ](#) [「2011年度」へ](#) [「2012年度」へ](#) [「2013年度」へ](#)
[「2014年度」へ](#) [「2015年度」へ](#) [「2016年度」へ](#) [「2017年度」へ](#) [「2018年度」へ](#)

開催日時	内容	テキスト	材料	作品	道具	参考	備考リンク
2008年03月20日(木)	WORD基礎講座 文書作成(01)	テキスト		作品		参考	2008年度へ
2008年04月01日(火)	WORD基礎講座 文書作成(02)	テキスト					
2008年04月15日(火)	電子メール基礎講座(1)	テキスト	材料				
2008年05月06日(火)	WORD基礎講座 文書作成(03)	テキスト					
2008年05月20日(火)	悪天候のため中止						
2008年06月03日(火)	WORD基礎講座 文書作成(04)	テキスト	材料				
2008年06月17日(火)	電子メール基礎講座(2)	テキスト					
2008年07月01日(火)	WORD基礎講座 文書作成(05)	テキスト	材料				
2008年07月08日(火)	WORD基礎講座 文書作成(06)	テキスト	材料				
2008年07月15日(火)	WORD基礎講座 文書作成(07)	テキスト	材料				
2008年08月05日(火)	画像処理基礎講座 -Photo Editorで写真を加工 I-	テキスト	材料				
2008年08月19日(火)	WORD基礎講座 -「残暑お見舞」の絵入りハガキの作成-	テキスト	材料	作品			
2008年09月02日(火)	画像処理基礎講座 -Photo Editorで写真を加工 II-	テキスト		作品			
2008年09月16日(火)	画像処理基礎講座 -Photo Editorで写真を加工 III-	テキスト	材料				
完成(7)	パソコンを使いこなす会 2008年7月15日 テキスト662 文書基礎講座 -学習会資料表紙-	テキスト					



イの詳細設定

- ② デジカメの画像のデータ(SD カード等)をパソコンに取り込む方法
- ③ スマホで撮影した画像をパソコンに取り込む方法
- ④ 動画画像を静止画像にし、そのデータをパソコンに取り込む方法
- ⑤ ペイントで画像を加工(消したり、加えたり)する方法
- ⑥ 募集案内チラシの作成方法
- ⑦ Yahoo メールで連絡先グループに一発で送信する方法
- ⑧ Picasa3 の使い方
- ⑨ Excel で表作成をし、自動計算ができる様になりたい

皆さん熱心に教え・教わって、パソコン操作の習熟とお互いの理解が進みました。その折の写真の一部を下に掲載します。



また、相談会風景を Google フォトアルバムに掲載しました。右の 2 次元バーコードをスマートフォン等のカメラで読み取って Google フォトアルバムをご覧ください。



3. 記念懇親会

「相談会」の後、打ち上げもかねて懇親会を開きました。内田代表をはじめ“わ”の会運営委員の皆様・分科会代表のご出席を頂き、親睦を深めました。

日 時：2019年4月9日（火）12時30分～14時30分

場 所：かごの屋

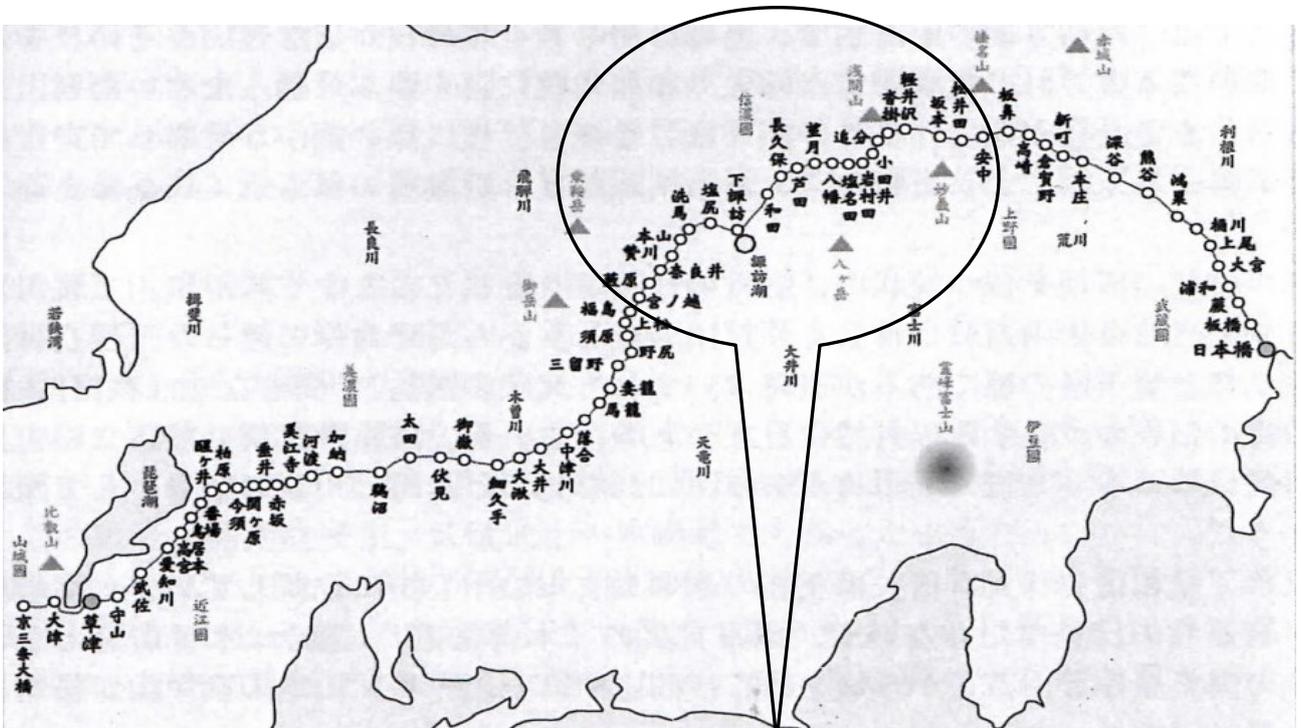
その折の撮影画像を分科会会員で選択・加工し、Google フォトアルバムに掲載しました。次の 2 次元バーコードから読み取ってその様子をご覧ください。



江戸時代の五街道を歩く(6)

古文書を読む会 代表 真田 雅行

中山道六十九次紀行 (2/4)



●—●: 今回対象範囲

5. 坂本宿—(碓氷峠)—軽井沢宿—沓掛宿—追分宿—小田井宿—岩村田宿—塩名田宿—八幡宿—望月宿 (41km)

前後に関所と峠を控え繁昌した「坂本宿」を抜け、^{はなわいし} 剗石山の峠の旧道入口にさしかかる。

“これからが本番だな”と気が引締まった。

晴天に感謝しながら、峠山頂の熊野権現まで約3時間30分、無人のつづら折の新緑の山路をハーハー息を吐きながらひたすら登る。

途中の印象的な場所の箇条書き：

- (1) 剗石の「^{のぞ}覗き」からの眼下の坂本宿・妙義山の一望
- (2) 剗石坂の神秘的雰囲気の中にたたずむ石造物群
- (3) 座頭ころがし(石のゴロゴロした急な登り坂)
- (4) 旅人を悩ました長い登りの山中坂
- (5) あちこち峠道の険路にたつ馬頭観音
- (6) 木洩れ日の新緑樹林の路
- (7) 日本武尊の故事を歌った「思婦石」と神さびた広場
- (8) 山頂の古風な熊野権現と名物の力餅
- (9) 山頂近くの上州・信濃国境公園広場とその見晴台からの雄大な晴天下の浅間山・妙義山・奥秩父の山々などの展望。



碓氷峠 剗石山「覗き」からの坂本宿と妙義山



碓氷峠 剗石坂付近の石造物群



木洩れ日の新緑樹林の路

峠の県境をまたいでいよいよ信州に入る。

急坂の細い旧道を下ること1時間半、溪流に架かる吊り橋「二手橋」を渡れば「軽井沢宿」、見覚えのある「碓氷峠」と刻まれた石碑、明治中期さびれていた軽井沢を開発した恩人で英人のアレキサンダー・ショーの記念碑のある教会、更に歴史を感じさせる別荘地帯を過ぎると、当時は休み茶屋だった「つるや旅館」があり、ここから向こうは賑やかな旧軽井沢銀座だ。

当時は難所の碓氷峠を控えて本陣、旅籠、茶屋が並び飯盛女(遊女)もいたという。

今はあか抜けしたリゾート雰囲気一杯だが、元宿場町の面影は昔日のかなたである。坂本宿～軽井沢宿間は約18km。

旧軽ロータリーからカラマツの並木道を抜け、国道18号線とほぼ重なる旧道を右に「離山」を見ながら進むと「沓掛宿」である。

だが今は「中軽井沢」という味気のない名前に変えられ、わずかに「長倉神社」内にある長谷川伸の小説の、剣はめっぽう強いが人情にからきし弱い剣客「沓掛時次郎

の碑」が唯一「沓掛」の名を残すのみである。

沓掛宿は上州草津温泉への入り口で賑わったが、天明3年(1783)の浅間山大噴火ですっかりさびれてしまった。

しかしこの日は晴天無風で、噴煙が真直ぐ天に昇る珍しい風景だ。

その浅間山を右手に見ながら、江戸時代に「入り鉄砲に出女」の検閲を避けるため、女性が多く利用した裏街道の「女街道」追分を過ぎ、更に道の両側に残る「追分の一里塚」(このあたり標高1,003m)まで来れば「追分宿」はもうすぐである。

浅間三宿の中、ここは国の「歴史国道」に指定されただけあって、旧道は昔の雰囲気随所に残している。

ここで昼飯となったが、最高に美味かったのが堀辰雄文学記念館近くで食べた「十割ソバ」である。

「追分宿」は名の通り、西はずれに北国街道(善光寺道)との分岐点「分去れ」があり、その三角地形の中に延宝7年(1679)建立の道標、子持地蔵(マリア像)、平賀源内の狂歌碑、石灯籠などが集中して立っている。

中山道はこの辺りから国道18号線を外れて佐久盆地の入口となり、榎の代わりに“しだれ桜”が塚上に聳える珍しい「御代田の一里塚」から、皇女和宮も昼食休息し、公家・諸侯の姫君など女性が多く泊ったので「姫の宿」とも呼ばれた静かな「小田井宿」を抜けると、今は佐久の中心地として鯉料理で名高い「岩村田宿」に入る。

城下町だったため本陣や脇本陣がなく、交通量の多い賑やかな町の感じだが、見ものは「龍雲寺」で、寺の説明版によると、ここには昭和6年に発見された武田信玄の遺骨が埋葬されているという。

元亀4年4月(1573)、戦国最強の武将・信玄は京への上洛の途中、伊那の駒場で急死したが、信長・家康その他ライバルに知られないようにひそかに葬られたといい、彼の五輪塔の墓がここにあり、甲府の恵林寺、三河の設楽町、或は「甲陽軍鑑」にいう諏訪湖墓地説など信玄の墓の所在論争は、この発掘調査でここが有力とされている。

ところで、武田信玄は本拠の甲州のほか信州から上州西部まで進出したが、子の勝頼自刃による武田氏滅亡以来、甲州は徳川氏の支配、信濃と西上州は上杉氏、北条氏、徳川氏の諸大名の草刈場となり、これに信州上田～上州吾妻～沼田一帯を支配し



沓掛宿 噴煙を真上にあげる浅間山



軽井沢・追分宿の分岐点「分去れ」

ていた真田氏を挟んで熾烈な争奪戦となった。そして佐久一帯は徳川氏勢力の優勢に変わった。

さて、佐久盆地の鄙びた田舎路を更に西に進み、小諸路分岐の「塩名田宿」を越えると千曲川に出た。五木ひろしの歌「千曲川」をハミングしながら「中津橋」を渡る。

千曲川は小諸を通過して信濃川に合流し、新潟市で日本海に注いでいる。

橋を渡れば上り坂で且つ道は狭いが交通量の多い「八幡宿」、その昔馬を飼育した官営の御牧ヶ原だった一帯にある重文「八幡神社」を越えると間もなく「望月宿」で、ここは中山道の中でも江戸時代の雰囲気の色濃く残し、昔ながらの看板があちこち目につく宿だ。



望月宿 江戸時代の旅籠「山城屋」

小田井宿からここまで来て、やっと旅籠や名主の旧家など宿泊施設に出会ったので早速飛び込みで宿をとった。改築されてはいるがほとんど江戸時代のままの旅籠である。

6. 望月宿—芦田宿—長久保宿—和田宿—(和田峠)—下諏訪宿—塩尻宿 (56km)

望月宿に尽いたのが日曜日の夕方で飛び込みだったため、旅籠での夕食が間に合わなかったが、最近できた洋食レストランが一軒だけ開いていると聞いて訪れた。古道の面影が色濃く残る望月宿には不似合いだったが、あか抜けした雰囲気でワインと洋食を満喫した。

中山道はこの辺から蓼科北麓に入るが、左右を丘陵に挟まれた美しい田園風景が続く。

途中、旧道が狭すぎるために新設道路が旧道を迂回したお蔭で、白壁の堀、土蔵の家並み、酒蔵などがそっくり残っている間の宿・「茂田井」を通過した。

造り酒屋のしるしである杉の葉を毬形にした酒林さかばやしを吊るした白壁の家が並ぶ風景に往年の中山道を偲びつつ、次の「芦田宿」を抜けて緩い山道をしばらく行くと、「笠取峠」の手前に名物の800mもの松並木路に出くわした。



笠取峠

江戸初期に幕府が小諸藩に植えさせたもので、よく整備された路傍に石仏などもたたずみ、車も通らないため歩くには絶好のコース、これまで出会った旧道の松並木道で最も印象に残るものだ。

「長久保宿」は八ヶ岳連峰を望む高原のL字型の宿場、上田方面への分岐点且つ笠取峠と次の和田峠への登り口だったことから、人馬の往来が多かったが今は静まり返っている。

武田信玄は信濃侵攻の際この長久保宿を通り大門街道を進んだ。

さて、中山道はここから次第に山間の道になり、山の中に吸い込まれるように続いているが、新道がいくつもできて旧道との見分けがつきにくい。このため和田峠への分岐「大和橋」を通り越して5kmも別の道に入り込んでしまった。“おかしいな”と思いつつ、疲れて道端でガックリしていると、農夫が近づいてきて道が違うことが判明した。

しかし、この親切な農夫は車でここを通りかかった同僚の女性に途中まで乗せてやってくれるよう頼んでくれた。その上女性は「大和橋」まで送るサービスまでしてくれた。

“おばさんの名前は聞かないけど、今日お世話になったことは一生忘れないよ。本当に助かったよ。有難う”と思わず頭を下げた。これが田舎の良さだなあとつくづく思った。

足にマメができて歩くのが辛かったが、この親切に勇気付けられて残り5km歩き、やっとの思いで無事「和田宿」についた時は夕方7時、一軒しかない旧名主屋敷「本亭旅館」に事情を話したら、快く泊めてくれた。

都会ではもうこうした心を打つ話は期待できなくなったと思う分一層有難かった。

風呂場とトイレは今風に改築され清潔だったし、それ以外は昔ながらの名主屋敷のまま。宿のおかみに“横浜から中山道の旅を続けている”といったら、“時々そういう方が泊る。明日は峠越えで途中何も無いから”と翌朝にぎりめしを用意してくれた。

今日はいろいろうれしいことが重なり、明日への希望が湧いた。よく眠れた。

明けて「和田峠越え」、標高1,531m、下諏訪宿まで22kmの長丁場で、途中に人家はない。

この峠は先史時代から^{ヤジリ}磁石など石器の材料だった「黒曜石」の産地であり、日本各地の遺跡からこの黒曜石が発見されているから、大昔から多くの人々がこの難所を越えていたことがわかる。途中で「石採取禁止」の立て札をよく見かけた。

評判通り峠の旧道入口からして雑草の多い坂道で歩きにくく、昔から旅人泣かせの厳しい峠として何回もつくりかえられたらしい。

しかし厳寒期はもとより雨の季節には疲れと寒さで行き倒れになる旅人も出たという。そこで冬期には難儀を軽減するため、幕府は「永代人馬施行所」を設けて粥や焚火を施したり、峠を挟んで東西の出口に力餅茶屋を設け、餅を売らせ、宿泊もさせた程で、今もその東餅屋跡、西餅屋跡が残っている。



和田宿 唯一の宿屋「本亭旅館」

雑草で塞がれた狭くて古い峠道をかき分けて、やっとのことで古峠の山頂に出て、御岳山遥拝所跡と苔むした石碑の傍で感激のにぎりめしで昼食をとった後、石がゴロゴロして足場の悪い急坂を下った。結局、出口の「西の力餅茶屋跡」を過ぎ、国道に出るまでに出合った人はゼロ、そこから下諏訪までは、道が立ち消えになったりして危険な旧道を避けたが、この途中に幕末、武田耕雲斎に率いられた水戸の天狗党が上京の際、松本藩兵と激戦を交えた跡があった。



和田峠 山頂の苔むした石碑

行けども尽きない道を十数キロとぼとぼ歩き続け、諏訪大社の「御柱祭の木落とし坂」までたどり着いた時はさすがに足が棒になり、限界を感じて今日はここで打ち切りにした。

「下諏訪宿」は甲州街道との分岐点、諏訪大社の下社春宮と秋宮があり温泉地でもあったので、往年の旅人が峠越えの疲れを癒す格好の宿場町であったという。



下諏訪宿手前にある諏訪大社の「御柱祭の木落とし坂」

数日後再び下諏訪からスタート、諏訪下社参拝後、道に迷いながら今井集落を抜けて「塩尻峠」への登りにかかり、ふと振り返ると眼下に諏訪湖を、そのまた向こうに八ヶ岳の峰と南アルプスが連なっていた。峠道は以外に急坂で、あえぎながら峠に出て、奥にある高台から塩尻側では乗鞍・穂高の山々をしばし拝み、下って静かで風格のある柿沢集落を過ぎると、車往來の激しい「塩尻宿」に入った。

7. 塩尻宿—洗馬宿—本山宿—贄川宿—奈良井宿—藪原宿—宮ノ越宿—福島宿 (48km)

松本街道との分岐点だった「塩尻宿」を抜け、珍しく街道の両側に残る一里塚（但し塚上の木は松）を過ぎれば一面のぶどう畑で塩尻ワインの産地、ぶどうの香りが漂い、ワイナリーが数軒営業していた。

しばらくすると縄文時代～平安時代に及ぶ大集落跡の「平出遺跡」が現れ、一部復元されていたが、更に近くには日本最北限に出土した銅鐸碑があり、一帯が古くから開けた地域だったことがわかる。

「洗馬宿」の名は、木曾義仲とここで出会った家臣・今井兼平が義仲の馬を洗った

ことに由来し、北国西街道（善光寺道）との分去れ路であったが、昭和の大火で焼けて面影はない。

次の「本山宿」は静かな山間の小さい宿、屋号看板の家並みに宿場時代の面影が残り、正面は山々が目前にせまり、道を塞いでいる感じだ。

ここまでが松本藩領で木曾路の入口にあたるが、ここを有名にしているのが「そば切り」の発祥地ということで、それ以前はそばの実を粒のまま食べていたという。

このことは芭蕉の門人・森川許六が書き残しているからほぼ間違いのないようだ。

やがて奈良井川の支流にかかる「境橋」を渡ると、「是より南、木曾路」の石碑があって尾張藩領となり、いよいよ島崎藤村『夜明け前』の「木曾路はすべて山の中である」の木曾路に入る。

ただ木曾路は両側に山が迫っているために、三留野宿までは国道19号線やJRが旧道と重なったり並行したりで集中し、宿場近辺以外は車の騒音も多く、歩行に注意が要る。

木曾路十一宿の最初は「贅川宿」、宿の入口の中央本線の脇に、福島の関所に次ぐ重要な関所があって「入り鉄砲に出女」を取締まったほか、木曾五木の搬出を取締った「尾張藩番所」が復元されている。特に木の伐採監視は厳しく、見つかって打首になった者もいたという。

やがて特産物の木曾漆器の町「平沢」に差掛かると、両側にピッシリ漆器店が並び、江戸時代の面影が残る静かな町だ。



「是より南、木曾路」の碑

行事予定

2019年6月～8月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	6月	7月	8月
学習会	6月8日(土) 金沢CC 13:30～16:30 ・長尾景治の乱と長享の乱 ・東京大学 文学部 研究員 谷口 雄太 氏	7月13日(土) 能見台CC 9:30～12:00 ・永正の乱 ・東京大学 大学院 人文社会系 研究科 日本史学研究室 助教 木下 聡 氏	8月3日(土) 県立金沢文庫 9:30～12:30 ・訪問講座 ・講演テーマ、講師未定
寺社を巡る会	6月6日(木) 10:00 集 合：東急妙蓮寺駅 テーマ：妙蓮寺から菊名池や白幡池を巡る 訪問先：妙蓮寺、慈雲寺、長遠寺、杉山神社等	7月4日(木) 10:00 集 合：京急鶴見駅 テーマ：生麦事件の現場を巡る 訪問先：慶岸寺、正泉寺、生麦事件現場、原神明社等	8月1日(木) 集 合：時間・場所未定 テーマ：座学(DVD鑑賞 百寺巡礼：神宮寺、石塔寺、専修寺、浅草寺)
古文書を読む会	6月13日(木) 10時～12時 場 所：区民活動センター テーマ：野島浦鈴木家文書 6月27日(木) 10時～12時 場 所：区民活動センター テーマ：北榎間略	7月11日(木) 10時～12時 場 所：区民活動センター テーマ：野島浦鈴木家文書 7月25日(木) 10時～12時 場 所：区民活動センター テーマ：北榎間略	8月8日(木) 10時～12時 場 所：未定 テーマ：野島浦鈴木家文書 8月22日(木) 10時～12時 場 所：未定 テーマ：北榎間略
ふれあいの道歩こう会	6月5日(水)予備日7日(金) 独自コース71番＝通算152回 花の入笠山 長野県 富士見町	7月18日(木)予備日19日(金) 独自コース72番＝通算153回 展望の頂－水沢山(浅間山) 群馬県 渋川市	休 会 {夏休み}
懐かしの映画を観る会	6月10日(月) 金沢CC 12:15～ 海よりもまだ深く 6月24日(月) 金沢CC 12:15～ 黄金のアデーレ	7月8日(月) 金沢CC 12:15～ めまい 7月22日(月) 金沢CC 12:15～ 男はつらいよ 寅次郎と殿様	8月5日(月) 金沢CC 12:15～ 大いなる西部 8月26日(月) 金沢CC 12:15～ ひまわり
浮雲俳句会	6月2日(日) 12:00～ 金沢CC 第21回金沢区民 俳句大会への参加	7月28日(日) 9:30～ 能見台CC 第131回例会 テーマ 石廊崎	8月25日(日) 9:30～ 能見台CC 第132回例会 テーマ 潮岬
パソコンを使いこなす会	6月11日(火) 金沢CC Windows 講座 －パソコンのトラブル対策－ 6月18日(火) 金沢CC Excel 講座 －数式の入力－ 9:30～12:00	7月9日(火) 金沢CC Windows 講座 －パソコンを軽くする－ 7月16日(火) 金沢CC Windows 講座 －音楽の編集－ 9:30～12:00	8月13日(火) 金沢CC Internet 講座 －Cloud ストレージ (One Drive)－ 8月20日(火) 金沢CC Internet 講座 －Cloud ストレージ (DropBox 等)－ 9:30～12:00

連絡先:

- ・学習会 090-6176-4543(内田) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 787-3250(江口) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤)
- ・寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿紀) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記

いよいよ今月から「平成」に代わる新しい元号「令和」の時代がスタートした。「令和」は万葉集出典で初の国書からの引用である。多くの専門家が中国古典からの影響を指摘しているが、なによりも日本で最初に仮名(万葉仮名)を用いて書かれた万葉集から採られたことが素晴らしい。巷では、万葉集ブームの到来が囁かれているとか。奇しくも“わ”の会では、昨年4月に「万葉集に親しむ会」を立ち上げ、7番目の分科会を目指し、月1回の勉強会を開いている。この機会に万葉集の魅力に触れてみるのは如何でしょうか。びっくりするほど、今の私たちと同じ感情がうたわれています。(山腰策次郎 記)

発行日	2019年5月11日
発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
編集長	山腰 策次郎
編集委員	相川 勲 田中 徳明 江口 正彦 佐藤 和広 渡邊 紀一 田野実 裕之 鶴岡 重典 林 元一